



BMW Motorrad



駆けぬげる歓び

Rider's Manual
K 1300 S

モーターサイクル / ディーラーのデータ

モーターサイクルデータ

モデル

車両識別番号シャリョウシキベツバンゴウ

カラー

初度登録

ライセンスプレート

ディーラーデータ

アフターサービス担当者

氏名

TEL

ディーラー所在地 / 電話 (スタンプ)

BMWの世界へようこそ

BMW Motorrad をご購入いただき、ありがとうございました。世界中で多くの熱狂的なファンを持つBMW Motorrad のライダーの一員となられたことを、心から歓迎いたします。あらゆる交通状況のなかで、安全にライディングを楽しんでいただくためには、購入された車両をよく理解し、親しんでいただくことが大切です。

本書について

新しいBMW モーターサイクルを使用される前に、まず本書をお読みください。本書には、BMW モーターサイクルを操作し、あらゆる機能を十分に活かすための情報が掲載されています。また、ライダーの安全やモーターサイクルの信頼性を確保し、愛車の価値を末永く維持するための整備と手入れに関する情報が掲載されています。

お問い合わせ

モーターサイクルについて疑問に思われることが生じたり、アドバイスが必要になられた場合には、BMW Motorrad ディーラーのスタッフにお気軽にお問い合わせください。

BMW と共に、安全で快適なライディングをお楽しみください。

BMW Motorrad

01 49 8 558 933



目次

1 一般的な情報	5	3 表示	23	グリップヒーター	51
全体図	6	マルチファンクションディ		BMW Motorrad Integral	
記号と意味	6	スプレイ	24	ABS	52
装備	7	表示の説明	25	オートマチックスタビリティ	
テクニカルデータ	7	警告灯 / インジケーター	25	コントロール (ASC)	53
本書の記述について	7	サービス表示	26	クラッチ	54
2 全体図	9	走行可能距離	26	ブレーキ	55
左側面	11	周囲温度	27	フットレスト	56
特別仕様モデル (HP パッ		タイヤ充填圧	27	ミラー	57
ケージ付き) 左側全体図 ...	13	オイルレベル注意	28	スプリングプリロード	57
右側面	15	警告表示	29	ショックアブソーバー	58
特別仕様モデル (HP パッ		4 取扱方法	43	電子調整式サスペンション	
ケージ付き) 右側全体図 ...	17	イグニッションスイッチ / ス		(ESA)	59
左コンビネーションス		テアリングロック	44	タイヤ	60
イッチ	18	電子式イモビライザー		ヘッドライト	61
右コンビネーションス		(EWS)	45	シート	62
イッチ	19	時計	46	ヘルメットホルダー	63
シート下	20	表示	47	ラゲッジループ	63
メーターパネル	21	ライト	49	5 盗難警報装置DWA	65
		ウインカー	50	全体図	66
		ハザードランプ	50	作動	66
		イグニッションキルス		アラーム機能	68
		イッチ	51	作動解除	69

プログラミング	70	電子調整式サスペンション (電子調整式サスペンション) (ESA II)	93	10 お手入れ	133
リモートコントロールの 登録	71	8 アクセサリー	95	ケア用品	134
同調を行う	72	一般的な情報	96	洗車	134
バッテリー	73	電源ソケット	96	損傷しやすい車両部品の お手入れ	134
6 走行	75	ケース	97	塗装のお手入れ	135
安全に関する注意事項	76	タイヤリペアキット	99	保護コーティング	136
チェックリスト	78	9 メンテナンス	101	長期保管	136
始動	78	一般的な情報	102	再使用	136
慣らし走行	80	ツールキット	102	11 テクニカルデータ	137
ギヤチェンジ	81	エンジンオイル	103	トラブルシュー ティング	138
ブレーキ	82	ブレーキシステム	105	ネジ止め部	139
駐車する	83	クラッチ	109	エンジン	141
給油	84	リムとタイヤ	109	燃料	142
モーターサイクルを搬送用 に固定します	85	ホイール	110	エンジンオイル	143
7 技術情報	87	フロントホイールス タンド	118	クラッチ	144
ブレーキシステム (BMW Motorrad Integral ABS 装備)	88	リヤホイールスタンド	120	ギヤボックス	144
エンジンマネジメントシステ ム (BMW Motorrad ASC 装 備)	90	バルブ	121	リヤホイールドライブ	145
タイヤ空気圧コントロール (RDC)	91	ジャンプスタート	127	サスペンション	145
		バッテリー	128	ブレーキ	147
				ホイールとタイヤ	147
				電装システム	148
				フレーム	150
				寸法	150

重量	151
性能	151
12 サービス	153
リサイクリング	154
BMW Motorrad サー ビス	155
BMW Motorrad モバイル サービス	156
メンテナンス作業	156
点検記録	157
一般整備記録	162
13 付録	165
検査済み証	166
14 索引	167

一般的な情報

全体図	6
記号と意味	6
装備	7
テクニカルデータ	7
本書の記述について	7

全体図

本書の第2章には、ご使用になられるモーターサイクルの全体図があります。第11章には、実施されたメンテナンスおよび修理作業がすべて記録されます。保証期間が満了した後で修理や点検を依頼される場合に、それまで定期的に整備されていたことが必要条件になります。Rider's Manual は、モーターサイクルにとって重要な構成部品のひとつです。将来、もしご使用のBMW モーターサイクルを売却される場合には、本書も一緒にお渡しくださいますようお願いいたします。

記号と意味

 ライダーとその周囲の人々の安全のため、また、製品を損傷から守るために、必ず注意すべき警告を示します。

 モーターサイクルの制御、点検、調整などの手順に関する個々の情報と、お手入れについての一般的な情報を示します。

◀ 注意事項の末尾を示します。

• 作業内容の指示を示します。

» 作業の結果を示します。

➡ 説明のある参照ページを示します。

◁ アクセサリーや装備に関する情報の末尾を示します。



締付けトルク。



仕様（諸元）。

OE オプション装備。
BMW Motorrad オプション装備は、モーターサイクルの製造時に工場で装着されます。

OA アクセサリー。
BMW Motorrad アクセサリーのご購入および取り付けにつきましては、BMW Motorrad ディーラーにて承ります。

EWS 電子式イモビライザー。

DWA 盗難警報装置。

ABS アンチロックブレーキシステム。

ASC オートマチックスタビリティコントロール (ASC)。

ESA Electronic Suspension Adjustment (電子調整式サスペンション)。

RDC タイヤ空気圧コントロール。

装備

BMW Motorrad のご購入に際しましては、それぞれお選びいただいたご希望の装備が装着されたモデルとなっています。本書では、BMW がご用意しているオプション (OE) および選択したアクセサリー (OA) について説明されています。そのため、あなたのモーターサイクルには装着されていない装備についての説明が含まれている場合がございますことをご了承ください。同様に、国別の仕様により、図示されているモーターサイクルと異なる場合があります。

本書で説明されていない BMW 装備品につきましては、別冊の取扱説明書をご覧ください。

テクニカルデータ

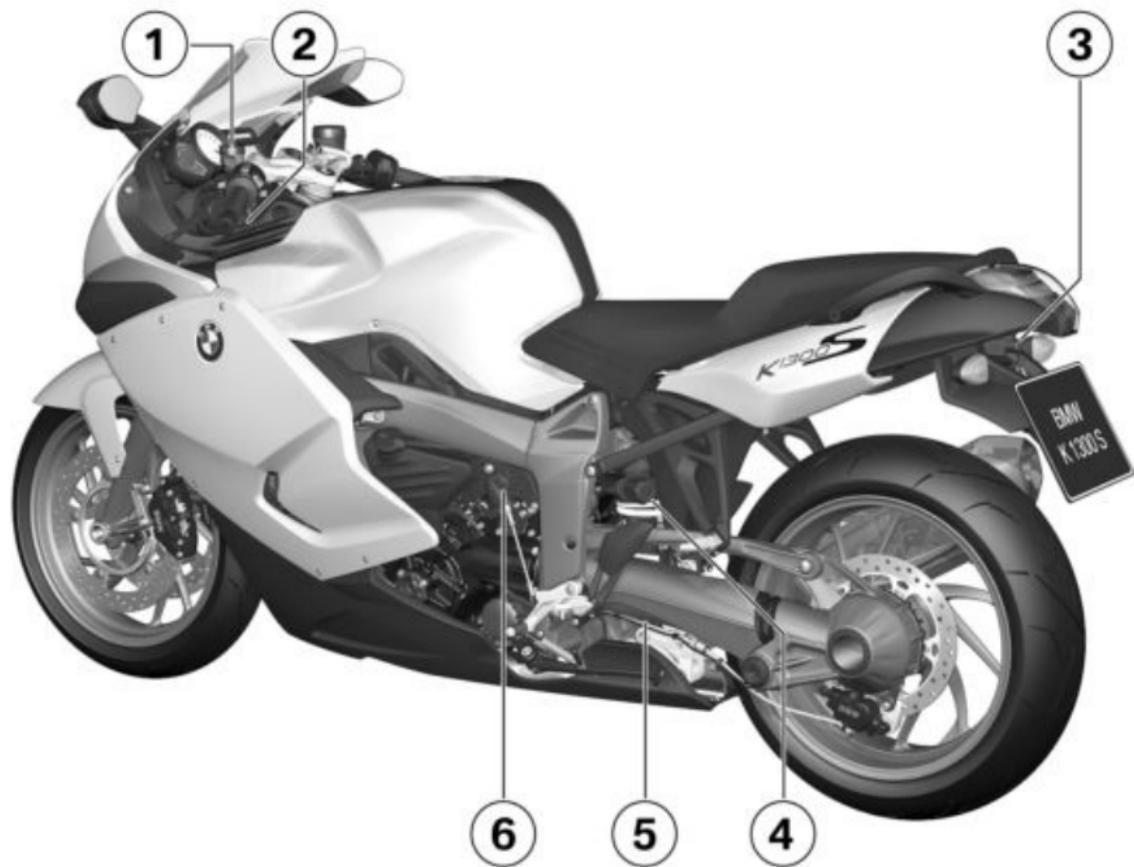
本書に掲載されている寸法、重量、性能に関する情報はすべて、DIN (ドイツ工業規格) およびその許容差規定に基づいて表記されています。国によって仕様が異なる場合があります。

本書の記述について

BMW Motorrad の高い安全性および品質は、デザイン、装備、アクセサリーに関する絶え間ない開発によって支えられています。そのため、本書の記述が実際のモーターサイクルとは異なる場合があります。また、BMW Motorrad はそのような誤りを完全に排除することはできません。したがって、記載内容や図、説明について責任を負いかねる場合がありますことをご理解くださいますようお願い申し上げます。

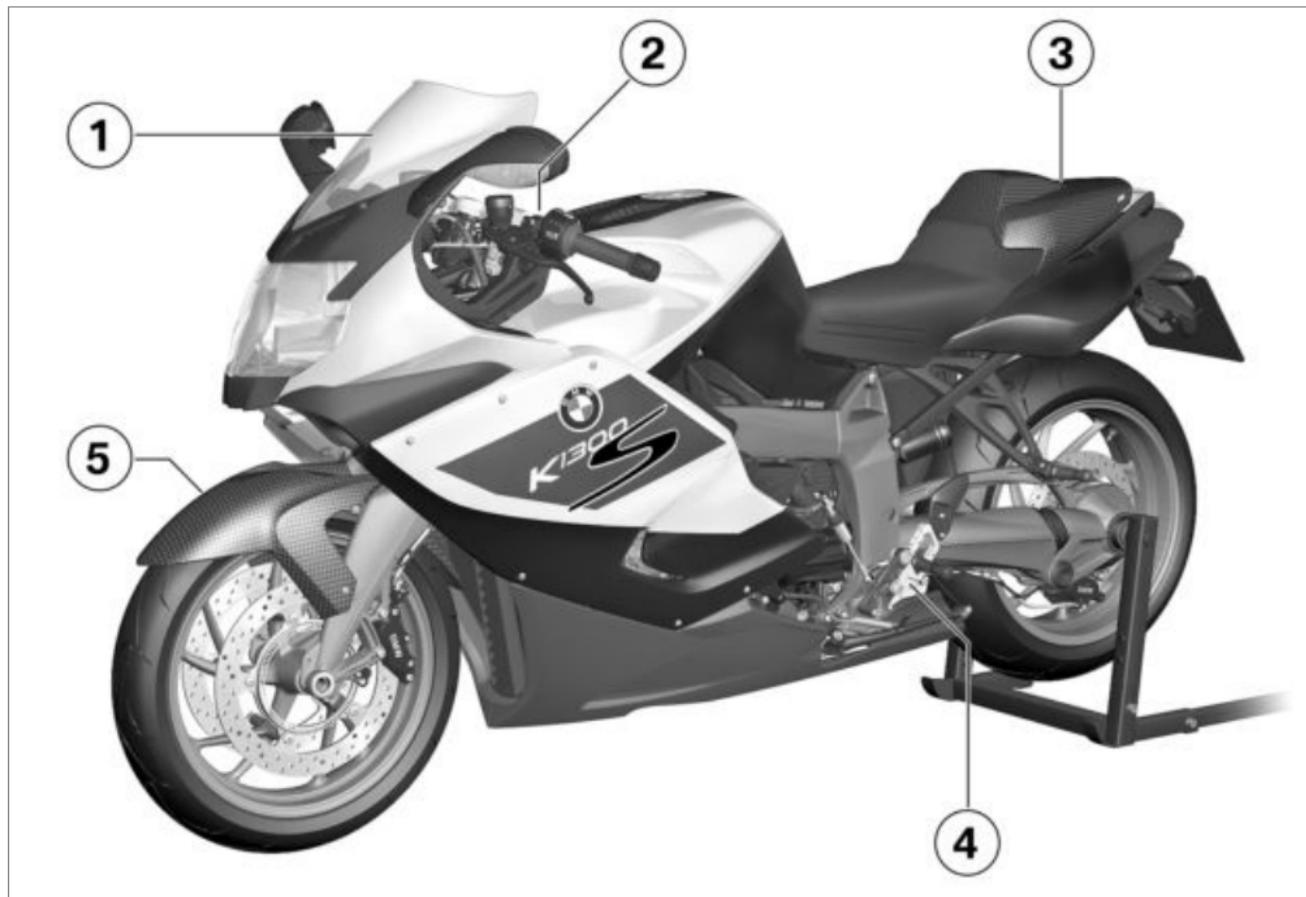
全体図

左側面	11
特別仕様モデル (HP パッケージ付き) 左側全体図	13
右側面	15
特別仕様モデル (HP パッケージ付き) 右側全体図	17
左コンビネーションスイッチ	18
右コンビネーションスイッチ	19
シート下	20
メーターパネル	21



左側面

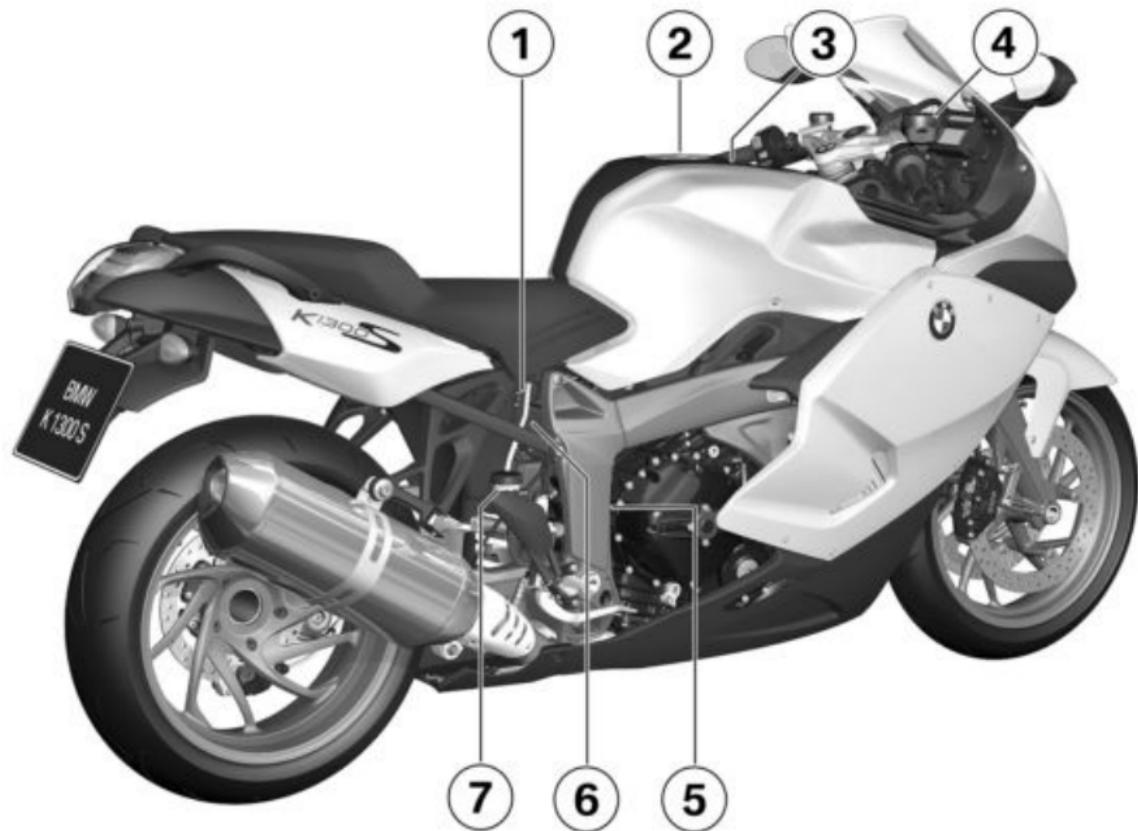
- 1 クラッチフルードリザーバータンク (▶▶▶▶ 109)
- 2 光軸の調整 (メーターパネル下部) (▶▶▶▶ 61)
- 3 シートロック (テールライト下) (▶▶▶▶ 62)
- 4 リヤスプリングプリロードの調整 (▶▶▶▶ 57)
- 5 リヤショックアブソーバーの調整 (▶▶▶▶ 58)
- 6 電源ソケット (▶▶▶▶ 96)



特別仕様モデル (HP パッケージ付き) 左側全体図

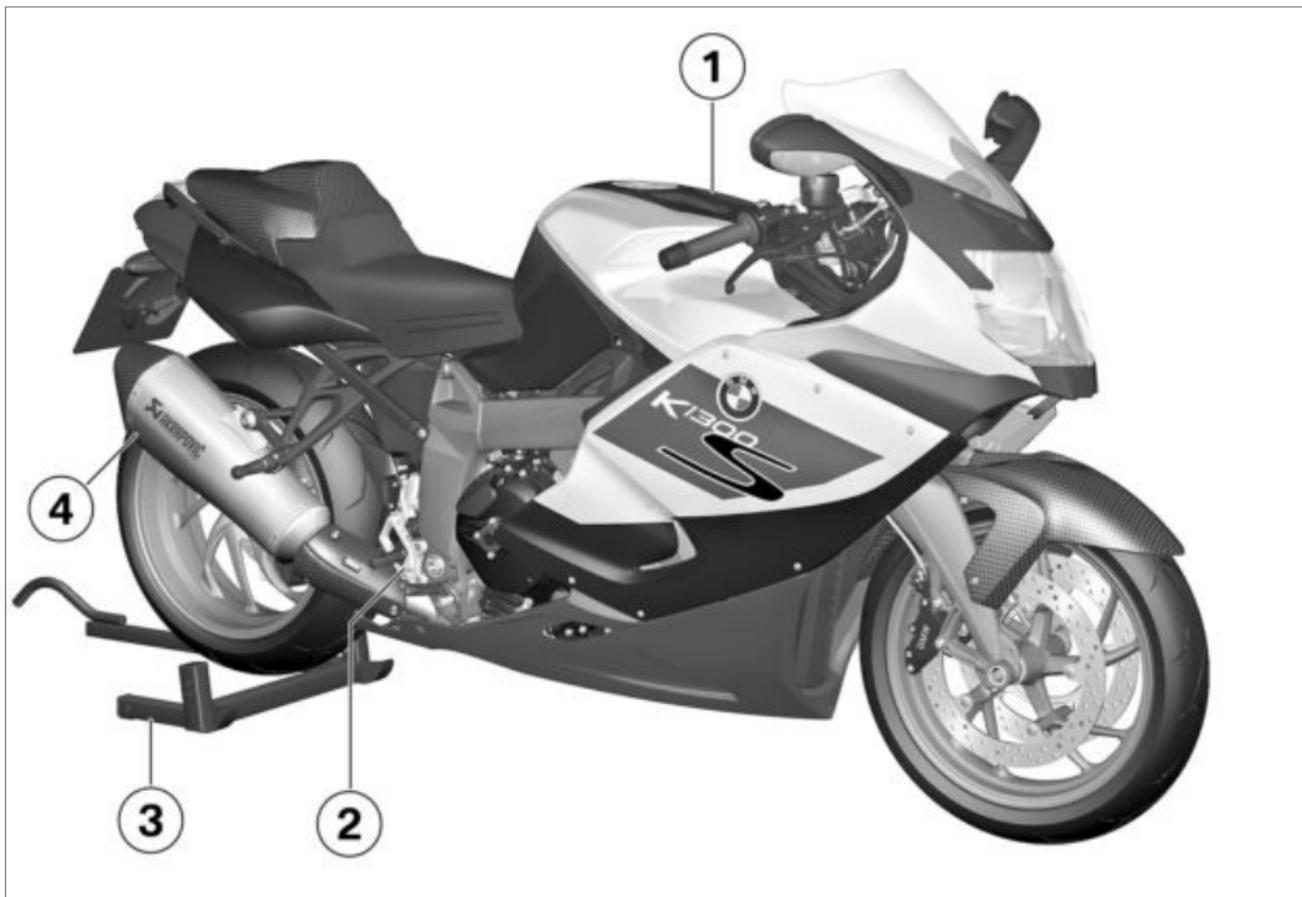
－特別仕様モデルK 1300 S (HP
パッケージ付き) OE 装備

- 1 スモークウインドシールド
- 2 モデル名および通し番号
付きアルミニウム製エンブレム
- 3 カーボン製リヤシートカ
バー (▶▶▶ 62)
- 4 調整式 HP フットレスト
(調整式シフトレバー付
き) (▶▶▶ 56)
- 5 カーボン製フロントフェン
ダー



右側面

- 1 エンジンオイルレベル表示 (▶▶▶▶ 103)
- 2 フューエル注入口 (▶▶▶▶ 84)
- 3 バッテリー収納部 (▶▶▶▶ 130)
- 4 フロントブレーキフルードリザーバータンク (▶▶▶▶ 105)
- 5 フレーム番号 (右フロントサイドセクション)
- 6 型式プレート (クロスパイプ後部)
- 7 リヤブレーキフルードリザーバータンク (▶▶▶▶ 108)



左コンビネーションスイッチ

- 1 ハイビームヘッドライトとパッシングライト (▶▶▶ 49)
- 2 表示を選択する (▶▶▶ 47)。
- オンボードコンピューターOE 装備
平均値をリセットする (▶▶▶ 48)。
- 3 ハザードランプ (▶▶▶ 50)
- 4 ウィンカーの操作 (▶▶▶ 50)
- 5 ホーン
- 6 - Electronic Suspension Adjustment (電子調整式サスペンション) (ESA II) OE 装備
ESA の操作 (▶▶▶ 59)
- 7 ABS の操作 (▶▶▶ 52)
- オートマチックスタビリティコントロールOE 装備
ASC の操作 (▶▶▶ 53)



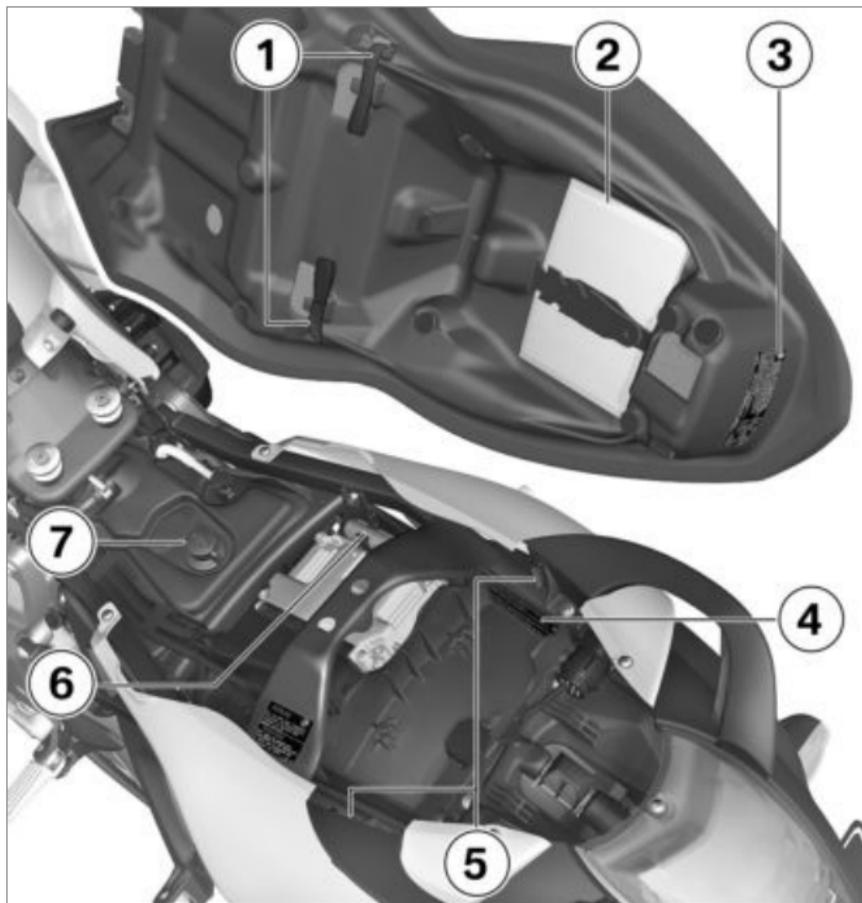


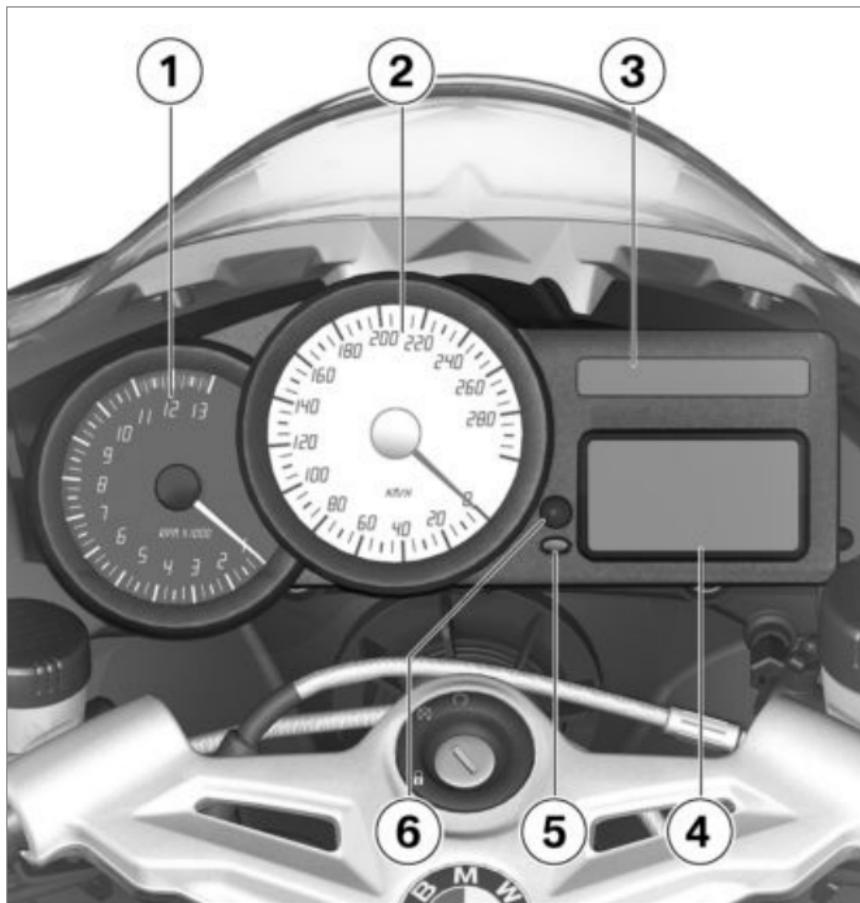
右コンビネーションスイッチ

- 1 - グリップヒーターOE
装備
グリップヒーターの操作 (▶▶▶ 51)
- 2 スターターボタン (▶▶▶ 78)
- 3 イグニッションキルスイッチ (▶▶▶ 51)

シート下

- 1 ラゲッジループ
- 2 Rider's Manual
- 3 タイヤ充填圧表
- 4 積載荷重一覧
- 5 ヘルメットホルダー (➡ 63)
- 6 標準スペシャルツールキット (➡ 102)
- 7 エンジンオイル注入口 (➡ 104)





メーターパネル

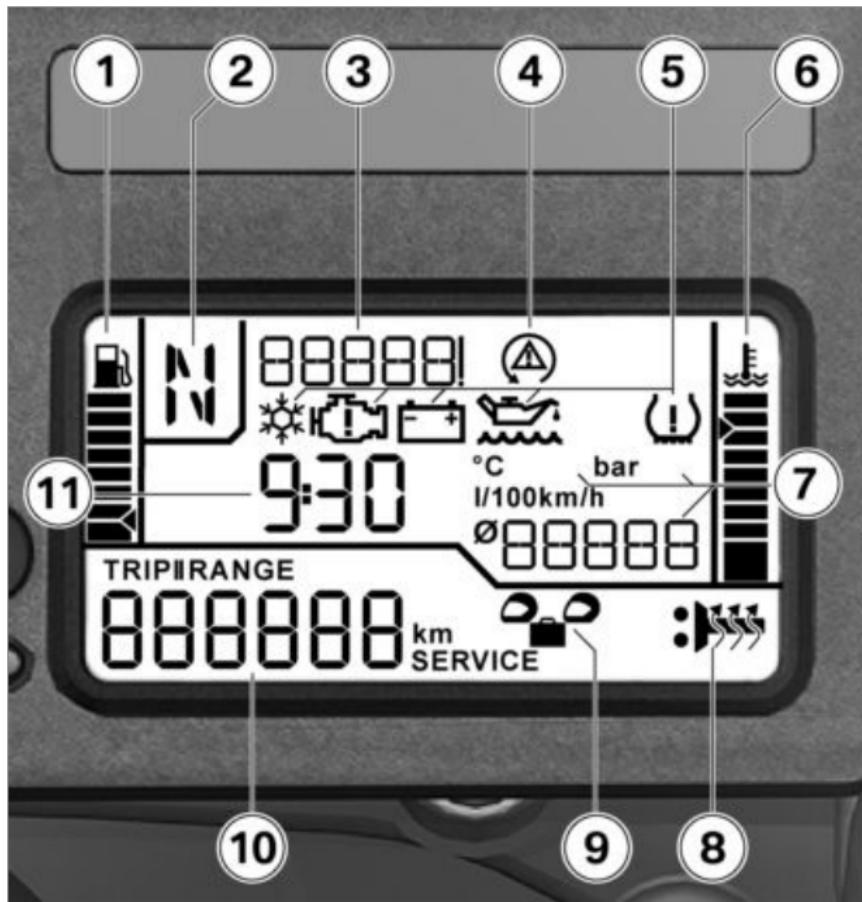
- 1 エンジン回転数表示
- 2 スピードメーター
- 3 警告灯 / インジケータ
ー (▶▶▶ 25)
- 4 マルチファンクションディスプレイ (▶▶▶ 24)
- 5 周囲輝度センサー (メーターパネルライトの輝度調整用)
- 盗難警報装置 (DWA) OE
装備
DWA 警告灯 (DWA 取扱説明書を参照)
- 6 オドメーターの操作 (▶▶▶ 47)
時計の操作 (▶▶▶ 46)

表示

マルチファンクションディスプレイ	
レイ	24
表示の説明	25
警告灯 / インジケータ	25
サービス表示	26
走行可能距離	26
周囲温度	27
タイヤ充填圧	27
オイルレベル注意	28
警告表示	29

マルチファンクションディスプレイ

- 1 バー表示は、フューエル残量を示します。
- 2 ギヤ表示、ニュートラルの場合には「N」が表示されます。
- 3 警告表示用フィールド (▶▶▶ 29)
- 4 - オートマチックスタビリティコントロール^{OE} 装備
ASC 警告表示 / インジケーター (▶▶▶ 38)
- 5 警告表示 (▶▶▶ 29)
- 6 バー表示はエンジン温度を示します。
- 7 - オンボードコンピューター^{OE} 装備
オンボードコンピューター表示 (▶▶▶ 25)
- 8 - グリップヒーター^{OE} 装備
グリップヒーターレベル (▶▶▶ 51)



- 9 - Electronic Suspension Adjustment (電子調整式サスペンション) (ESA II) ^{OE} 装備
ESA 調整 (▶▶▶ 59)
- 10 オドメーターとトリップメーター (▶▶▶ 47)
- 11 時計 (▶▶▶ 46)
- オンボードコンピューター ^{OE} 装備
オンボードコンピューターの値範囲 (▶▶▶ 47)

表示の説明

- オンボードコンピューター ^{OE} 装備

CLOCK: 時刻

TEMP: 周囲温度 (▶▶▶ 27)

∅ SPEED: 前回リセットしてからの平均車速

∅ FUEL: 前回リセットしてからの平均燃費

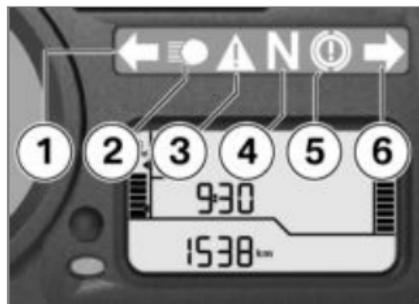
RANGE: 残っているフューエル量での走行可能距離 (▶▶▶ 26)

OIL: オイルレベル注意オイルレベルチュウイ (▶▶▶ 28)

- タイヤ空気圧コントロール (RDC) ^{OE} 装備

RDC P: タイヤ充填圧 (▶▶▶ 27)

警告灯 / インジケーター



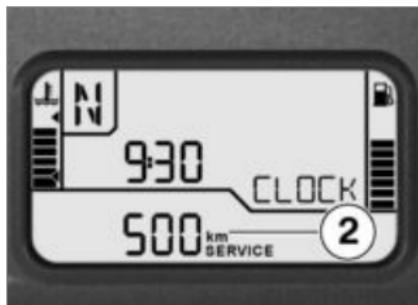
- 1 左側ウインカーインジケーター
- 2 ハイビームインジケーター
- 3 ジェネラル警告灯、ディスプレイ内の警告表示と連動 (▶▶▶ 29)
- 4 ニュートラルインジケーター
- 5 ABS 警告灯 (▶▶▶ 37)
- 6 右側ウインカーインジケーター

▶ ABS マークは、国別仕様に
より、表示が異なることが
あります。◀

サービス表示



次回のサービスまでの期間が1ヶ月以内の場合、サービス時期 **1** が Pre-Ride-Check (走行前点検) に続いて短時間表示されます。この例では、表示は「2012年3月」を意味しています。



年間走行距離が長い場合には、予定を早めてサービスを実施する状況になることもあります。早めに実施されるサービス用の走行距離が 1000 km 以内の場合、残りの走行距離 **2** が 100 km 単位で、Pre-Ride-Check (走行前点検) に続いて短時間表示されます。

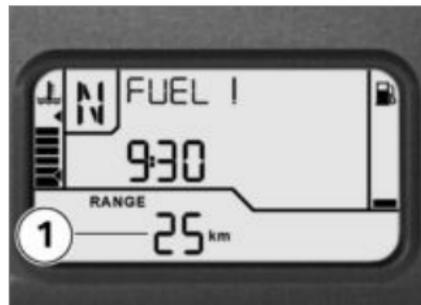


サービス時期を過ぎた場合には、期日または走行距離を示すため、さらにジェネラル警告灯が黄色く点灯します。サービス表示は継続的に表示されます。

▶ サービス期日まで1ヶ月以上あるのにサービス表示が表示されている場合、メーターパネルに設定されている日付を調整する必要があります。この症状は、バッテリーが長時間外されたままのときに発生することがあります。

日付の調整に関しては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。◀

走行可能距離



走行可能距離 **1** は、残りのフェューエルであとどれだけ走行できるかを示します。算出は、平均燃

費およびフューエルレベルに基づいて行われます。

リザーブ容量を下回った状態で給油を行う場合は、給油後の総容量がリザーブ容量を上回る必要があります。これにより、新たな充填レベルが検知されます。そうでないと、走行可能距離の表示が更新されません。

モーターサイクルがサイドスタンドで立てられている場合、その傾きのために、フューエルレベルが正確に測れないおそれがあります。そのため、走行可能距離の算出はサイドスタンドを格納した状態でのみ正しく実施できます。

▶ 算出された走行可能距離は、概算数値です。そのため、BMW Motorrad は、表示されている走行可能距離を完全に走行しきらないことをお勧めします。◀

– オンボードコンピューターOE 非装備

走行可能距離は、フューエルリザーブ容量に達してから表示されます。

– オンボードコンピューターOE 装備

走行可能距離を算出するための平均燃費は表示されませんし、表示されている平均燃費とは異なることがあります。

周囲温度

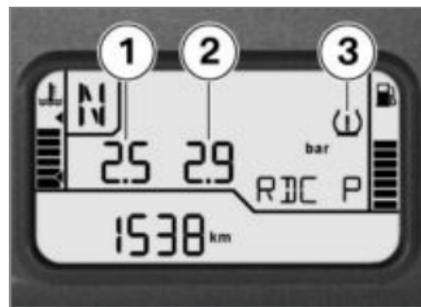
– オンボードコンピューターOE 装備

停車している時に、エンジン放射熱により外気温度の測定に誤差が生じる場合があります。エンジン放射熱の影響が著しい場合には、一時的に-- が表示されます。

 外気温度が 3 °C を下回ると、氷結が発生する前に警告のため温度表示が点滅します。この温度を最初に下回った時点で、ディスプレイの設定状態にかかわらず自動的に温度表示に切り替わります。

タイヤ充填圧

– タイヤ空気圧コントロール (RDC) OE 装備



表示されているタイヤ充填圧は、タイヤ温度 20 °C の場合の値です。左の数値 **1** はフロントホイールの充填圧を、右の数値 **2**

はリヤホイールの充填圧を示しています。イグニッション ON の直後は、--- が表示されます。これは充填圧値の伝送が車速 30 km/h を初めて越えたところから開始されるためです。

 さらにマーク **3** が表示される場合には、警告表示に関わる問題です。タイヤ充填圧が限界値に達すると点滅します。

値が許容限界領域に達すると、さらにジェネラル警告灯 (黄) が点灯します。測定されたタイヤ充填圧が許容範囲外にある場合は、ジェネラル警告灯 (赤) が点滅します。

BMW Motorrad RDC に関する詳細な情報は、( 92) ページ以降をご覧ください。

オイルレベル注意

– オンボードコンピューター^{OE} 装備



オイルレベル注意 **1** では、エンジンオイルレベルに関する情報が提供されます。停車しているときのみ、呼び出しが出来ます。

オイルレベル注意には、以下の条件が満たされている必要があります。

- エンジンが作動温度に達していること
- エンジンを 10 秒間以上アイドルリングさせていること

- サイドスタンドが格納されていること
- モーターサイクルをまっすぐに立てます。

表示の意味：

OK: オイルレベルは正常です。
CHECK: 次回の燃料補給時にオイルレベルを点検してください。

---: オイルレベルを測定できません (前述の条件が満たされていません)。



オンボードコンピューターの他の情報が呼び出される場合は、オイルレベルが正常であると再び認識されるまで、このマークが引き続き表示されます。

次にイグニッションを ON にすると、最後に測定されたレベルが 5 秒間表示されます。

警告表示

表示

警告は対応する警告灯により表示されます。

クが表示され、警告が順番に表示されます。

次のページに警告表示の一覧があります。



専用の警告灯のない警告は、ジェネラル警告灯 **1** と警告指示 (**2** など) または警告マーク (**3** など) の組み合わせにより、マルチファンクションディスプレイに表示されます。警告の緊急性に応じて、ジェネラル警告灯が、赤または黄に点灯します。

複数の警告がある場合は、関連するすべての警告灯および警告マー

警告表示一覧

警告灯 / インジケーター ディスプレイの警告記号 意味

	点灯する (黄)		EWS !が表示される	EWS 作動 (▶▶▶ 34)
	点灯する (黄)		FUEL !が表示される	燃料がリザーブ容量に達している (▶▶▶ 34)
	点灯する (赤)		温度表示が点滅する	クーラント温度が高すぎる (▶▶▶ 34)
	点灯する (黄)		が表示される	エンジンがエマージェンシーモードになっている (▶▶▶ 34)
	点滅する (赤)		が表示される	エンジンオイルプレッシャーが不十分である (▶▶▶ 35)
	点灯する (赤)		が表示される	バッテリー充電が不十分である (▶▶▶ 35)
	点灯する (黄)		LAMPR !が表示される	テールライトの故障 (▶▶▶ 36)
			LAMPF !が表示される	ヘッドライトバルブまたはウインカーの故障 (▶▶▶ 36)

警告灯 / インジケーター	ディスプレイの警告記号	意味
	 が表示される	ASC が OFF になっている (▶▶▶▶ 38)
 点灯する (黄)	 が表示される	ASC の故障 (▶▶▶▶ 38)
 点灯する (黄)	 が表示される	タイヤ充填圧が許容限界域にある (▶▶▶▶ 39)
	タイヤ充填圧が限界値に達すると点滅する	
 点滅する (赤)	 が表示される	タイヤ充填圧が許容範囲外にある (▶▶▶▶ 39)
	タイヤ充填圧が限界値に達すると点滅する	
	「--」または「-- --」が表示されます	伝送障害 (▶▶▶▶ 40)
 点灯する (黄)	 が表示される	センサーの故障またはシステムエラー (▶▶▶▶ 40)

警告灯 / インジケーター	ディスプレイの警告記号	意味
	「--」または「-- --」が表示されます	センサーの故障またはシステムエラー (▶▶▶ 40)
 点灯する (黄)	RDC !が表示される	タイヤ充填圧センサーのバッテリーが弱い (▶▶▶ 41)
 点灯する (黄)	DWA !が表示される	DWA バッテリーが空になっている (▶▶▶ 41)
	DWALO !が表示される	DWA バッテリーが弱っている (▶▶▶ 41)

EWS 作動



ジェネラル警告灯（黄）が点灯します。

EWS !が表示されます。

考えられる原因:

使用されたキーに始動する権限がないか、キーとエンジンマネジメントシステム間の通信が妨げられています。

- イグニッションキー付近にある他のキーを外します。
- スペアキーを使用します。
- 故障したキーは、BMW Motorrad ディーラーで交換してください。

燃料がリザーブ容量に達している



ジェネラル警告灯（黄）が点灯します。

FUEL !が表示されます。



燃料不足はエンジン回転不良やエンジンの停止の原因となることがあり（事故を起こ

す危険）、また、触媒コンバーターを損傷させるおそれがあります。

フューエルタンクを空にしないでください。◀

考えられる原因:

フューエルタンクには、リザーブ用フューエルがまだ最大容量入っています。



フューエルリザーブ容量

約 4 l

- 給油手順(▶▶ 84)。

クーラント温度が高すぎる



ジェネラル警告灯（赤）が点灯します。

温度表示が点滅します。



オーバーヒートした状態で走行すると、エンジンの損傷を招くおそれがあります。

必ず下記の処置を順守してください。◀

考えられる原因:

クーラント温度が高すぎます。

- 可能であれば、エンジンを冷ますためにパーシャルロード域で走行してください。
- 渋滞中はエンジンを停止させます。ただし、ラジエーターファンの作動を止めないために、イグニッションは ON のままにしておきます。
- クーラント温度が頻繁に高くなりすぎる場合には、できる限り早く BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

エンジンがエマージェンシーモードになっている



ジェネラル警告灯（黄）が点灯します。



エンジンマークが表示されます。

 エンジンは一マージェンシーモードで作動します。通常と異なる走行特性になることがあります。

走行スタイルを調整してください。著しい加速や追い越しは避けてください。◀

考えられる原因:

エンジンコントロールユニットに故障が発生しています。最悪の場合、エンジンが停止し、その後始動できなくなります。その他の場合には、エンジンは一マージェンシーモードで作動します。

- 走行を続けることは可能ですが、通常どおりのエンジン性能は発揮できない可能性があります。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

エンジンオイルプレッシャーが不十分である

 ジェネラル警告灯（赤）が点滅します。

 オイルポットマークが表示されます。

潤滑オイルサーキット内オイル圧が低すぎます。警告灯が点灯したら、直ちに停車してエンジンを切ってください。

 エンジンオイルプレッシャーの不足に関する警告は、オイルレベルの点検機能を果たすものではありません。正しいエンジンオイルレベルは、オイルレベル点検窓でのみ点検できます。◀

考えられる原因:

エンジンオイルレベルが低すぎます。

- エンジンオイルレベルを点検する(▶▶▶ 103)。

オイルレベルが低すぎる場合:

- エンジンオイルを補充する(▶▶▶ 104)。

考えられる原因:

エンジンオイルプレッシャーが不十分です。

 エンジンオイルプレッシャーが不十分な状態で走行すると、エンジンが損傷するおそれがあります。走行を続けしないでください。◀

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

バッテリーチャージが不十分である

 ジェネラル警告灯（赤）が点灯します。

 バッテリーマークが表示されます。

 バッテリーの放電は、ライト、エンジン、ABS などのさまざまな車両システムの故障につながります。これにより、危険な走行状態が発生するおそれがあります。走行を続けしないでください。◀

バッテリーが充電されていません。走行を続けると、車両の電子機器がバッテリーを放電します。

考えられる原因:

オルタネーターまたはオルタネータードライブの不具合。

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

テールライトの故障

 ジェネラル警告灯 (黄) が点灯します。

LAMPR ! が表示されます。

 車両の照明バルブの故障は危険です。車両が他の走行車両などから見えにくくなるからです。

故障したバルブはできるかぎり早急に交換します。できれば、常に適切な予備バルブを携行してください。◀

考えられる原因:

テールライトまたはブレーキライトが故障しています。

- ダイオードリヤライトを交換する必要があります。BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

ヘッドライトバルブまたはウインカーの故障

LAMPF ! が表示されます。

 車両の照明バルブの故障は危険です。車両が他の走行車両などから見えにくくなるからです。

故障したバルブはできるかぎり早

急に交換します。できれば、常に適切な予備バルブを携行してください。◀

考えられる原因:

ヘッドライトバルブ (1 個) またはウインカーバルブ (1 個) が故障しています。

- ロービーム / ハイビームライトバルブを交換する(▶▶▶ 121)。
- ポジション / パーキングライトバルブを交換する(▶▶▶ 123)。
- フロントウインカーバルブを交換する(▶▶▶ 124)。
- リヤウインカーバルブを交換する(▶▶▶ 126)。

バルブの故障

 ジェネラル警告灯 (黄) が点灯します。

LAMP S ! が表示されます。

 車両の照明バルブの故障は危険です。車両が他の走行車両などから見えにくくなるからです。

故障したバルブはできるかぎり早急に交換します。できれば、常に適切な予備バルブを携行してください。◀

考えられる原因:

バルブの故障が複合して発生しています。

- さらに、前述の詳しい故障説明をお読みください。

エンジンオイルレベルが低すぎる

— オンボードコンピューター—OE 装備



オイルレベルマークが表示されます。

Check Oilが表示されます。

考えられる原因:

電子式オイルレベルセンサーがエンジンオイルレベルが低すぎることを検知しました。次の燃料補給時に、エンジンオイルレベルをオイルレベル点検窓で点検します:

- エンジンオイルレベルを点検する(▶▶▶ 103)。
- オイルレベルが低すぎる場合:
- エンジンオイルを補充する(▶▶▶ 104)。

路面凍結警告

— オンボードコンピューター—OE 装備



氷結マークが表示されません。

考えられる原因:

モーターサイクル付近で測定された外気温度は 3 °C 以下です。



路面凍結警告には、測定温度 3 °C を越える路面であっても凍結の可能性があるということが含まれています。

外気温度が低い場合、特に橋の上や陰になった暗い路面では、凍結しているおそれがあることを考慮してください。◀

- よく注意して走行してください。

ABS 自己診断が終了していません



ABS 警告灯が点滅します。

考えられる原因:

自己診断が終了していません。ABS 機能を使用することはできません。ABS 自己診断を終了するため、モーターサイクルを 5 km/h 以上で走行させる必要があります。

- ゆっくりと発進します。自己診断が終了するまで ABS 機能が使用できないことに注意してください。

ABS が OFF になっている



ABS 警告灯が点灯します。

考えられる原因:

ABS システムは、ライダーにより OFF にされました。

- ABS 機能を ON にします。

ABS の故障



ABS 警告灯が点灯します。

考えられる原因:

ABS コントロールユニットが故障を検知しました。ABS 機能は使用できません。

- 走行を続ける場合は、ABS 機能の故障を考慮してください。ABS の故障を引き起こしている状況についての、詳細な情報をご確認ください (▶▶ 89)。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

ASC 制御

– オートマチックスタビリティコントロール^{OE} 装備



ジェネラル警告灯 (黄) が素早く点滅します。



ASC マークが表示されません。

ASC はリヤホイールの不安定な状態を検知し、トルクを制限します。警告灯は、ASC 制御よりも長く点滅し続けます。これにより、厳しい走行状態の後でも、ライダーは制御が正常に行われた旨のフィードバック表示を目にすることができます。

ASC-自己診断が終了していません

– オートマチックスタビリティコントロール^{OE} 装備



ASC マークが点滅します。

考えられる原因:

自己診断が終了しておらず、ASC 機能は使用できません。ASC 自己診断を終了するため、エンジンを始動させてモーターサイクルを 5 km/h 以上で走行させる必要があります。

- ゆっくりと発進します。自己診断が終了するまでは ASC 機能が使用できないことに注意してください。

ASC が OFF になっている

– オートマチックスタビリティコントロール^{OE} 装備



ASC マークが表示されません。

考えられる原因:

- ASC システムは、ライダーにより OFF にされました。
- ASC 機能を ON にします。

ASC の故障

– オートマチックスタビリティコントロール^{OE} 装備



ジェネラル警告灯 (黄) が点灯します。



ASC マークが表示されません。

考えられる原因:

ASC コントロールユニットが故障を検知しました。ASC 機能は使用できません。

- 走行を続行することは可能です。ASC 機能が使用できないことに注意してください。ASC の故障を引き起こしている状況についての、詳細な情報をご確認ください (▶▶ 91)。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

タイヤ充填圧が許容限界域にある

– タイヤ空気圧コントロール (RDC) ^{OE} 装備



ジェネラル警告灯 (黄) が点灯します。



タイヤマークが表示されません。

タイヤ充填圧が限界値に達すると点滅します。

考えられる原因:

測定されたタイヤ充填圧が許容限界域にあります。

- Rider's Manual 裏表紙の記載に従って、タイヤ充填圧を調整します。



タイヤ充填圧を調整する前に、「技術情報」の章にある温度補正および充填圧の調整に関する情報を参照してください。◀

タイヤ充填圧が許容範囲外にある

– タイヤ空気圧コントロール (RDC) ^{OE} 装備



ジェネラル警告灯 (赤) が点滅します。



タイヤマークが表示されません。

タイヤ充填圧が限界値に達すると点滅します。

考えられる原因:

測定されたタイヤ充填圧が許容範囲外にあります。

- タイヤが損傷していないか、走行に適した状態か点検します。

タイヤがまだ使用可能な状態の場合:



タイヤ充填圧が許容範囲外にある場合、モーターサイクルの走行特性に悪影響を及ぼします。

走行スタイルを適宜調整してください。◀

- できるだけ早く、タイヤ充填圧を修正します。



タイヤ充填圧を調整する前に、「技術情報」の章にある温度補正および充填圧の調整に関する情報を参照してください。◀

- BMW Motorrad ディーラーに、タイヤが損傷していないか、点検を依頼してください。

タイヤの走行性に関して安全が確認できない場合：

- 走行を続けしないでください。
- エマージェンシーサービスに知らせます。

伝送障害

ータイヤ空気圧コントロール (RDC) ^{OE} 装備

「--」または「-- --」が表示されます。

考えられる原因:

車速が約 30 km/h の境界値を超えていませんでした。RDC センサーは、この車速を越えて初めて、信号を発信します (▶▶ 92)。

- RDC 表示を、高速走行時に点検します。さらにジェネラル警告灯が点灯する場合には、継続している不具合があることを示します。このような場合には、
- BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

考えられる原因:

RDC センサーへの無線接続に障害が発生しています。原因としては、周辺に無線機器 / システム類があり、これらが RDC コントロールユニットとセンサー間の接続を妨害している、ということが考えられます。

- RDC 表示を、別の環境 / 状況で点検します。さらにジェネラル警告灯が点灯する場合には、継続している不具合があることを示します。このような場合には、
- BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

センサーの故障またはシステムエラー

ータイヤ空気圧コントロール (RDC) ^{OE} 装備



ジェネラル警告灯 (黄) が点灯します。



タイヤマークが表示されません。

「--」または「-- --」が表示されます。

考えられる原因:

RDC センサー非装備のホイールが装着されています。

- ホイールセットに RDC センサーを後付けします。

考えられる原因:

1 つまたは 2 つの RDC センサーが故障しています。

- BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

考えられる原因:

システムエラーが発生しています。

- BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

タイヤ充填圧センサーのバッテリーが弱い

– タイヤ空気圧コントロール (RDC) ^{OE} 装備



ジェネラル警告灯 (黄) が点灯します。

RDC ! が表示されます。



このエラーメッセージは、短時間、Pre-Ride-Check (走行前点検) の直後にのみ表示されます。◀

考えられる原因:

タイヤ充填圧センサーのバッテリーがフル充電されていません。タイヤ充填圧コントロール機能が保証されるのは、ごく限られた時間内のみです。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

DWA バッテリーが空になっている

– 盗難警報装置 (DWA) ^{OE} 装備



ジェネラル警告灯 (黄) が点灯します。

DWA ! が表示されます。



このエラーメッセージは、短時間、Pre-Ride-Check (走行前点検) の直後にのみ表示されます。◀

考えられる原因:

DWA バッテリーが充電されていません。DWA の機能は、バッテリーのターミナルを外している場合、保証されません。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

DWA バッテリーが弱っている

– 盗難警報装置 (DWA) ^{OE} 装備

DWALO ! が表示されます。

このエラーメッセージは、短時間、Pre-Ride-Check (走行前点検) の直後にのみ表示されます。◀

考えられる原因:

DWA バッテリーがフル充電されていません。DWA の機能が保証されるのは、バッテリーのターミナルを外している場合、ごく限られた時間内のみです。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

取扱方法

イグニッションスイッチ / ステアリングロック	44	ミラー	57
電子式イモビライザー (EWS)	45	スプリングプリロード	57
時計	46	ショックアブソーバー	58
表示	47	電子調整式サスペンション (ESA)	59
ライト	49	タイヤ	60
ウインカー	50	ヘッドライト	61
ハザードランプ	50	シート	62
イグニッションキルスイッチ	51	ヘルメットホルダー	63
グリップヒーター	51	ラゲッジループ	63
BMW Motorrad Integral ABS	52		
オートマチックスタビリティコントロール (ASC)	53		
クラッチ	54		
ブレーキ	55		
フットレスト	56		

イグニッションスイッチ / ステアリングロック

キー

イグニッションキーは 2 本あります。

キーを紛失した場合は、電子式イモビライザー (EWS) (▶▶▶ 45) の注意事項に従ってください。

イグニッションスイッチ / ステアリングロック、タンクキャップ、シートロックは、1 本の同じキーで操作できます。

ケース OA 装備

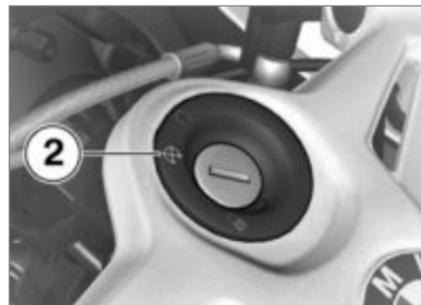
ご要望により、ケースも同じキーで操作するようにできます。この件につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

イグニッションを ON にする



- キーをポジション **1** に回します。
 - ▶ ポジション / パーキングライトとすべての電気回路が ON になります。
 - ▶ エンジンを始動することができます。
 - ▶ Pre-Ride-Check (走行前点検) が行われます。(▶▶▶ 79)
 - ▶ ABS 自己診断が実施されます。(▶▶▶ 79)
- オートマチックスタビリティコントロール^{OE} 装備
- ▶ ASC 自己診断が実施されます。(▶▶▶ 80)◀

イグニッションスイッチを OFF にする



- キーをポジション **2** に回します。
- ▶ ライトが OFF になります。
- ▶ ステアリングロックが解除されます。
- ▶ キーを抜き取ることができます。
- ▶ 追加装備機器は限られた時間内で使用できます。
- ▶ バッテリーの充電は、電源ソケットを介して行うことができます。

ステアリングロックをロックする

! モーターサイクルをサイドスタンドで立てた場合、ハンドルバーを左右のどちらに回すのがよいかは、路面状態によって異なります。ただし平坦な路面では、ハンドルバーを左に回したほうが、右に回した場合よりもモーターサイクルが安定します。

平坦な路面では、ステアリングをロックする際に、必ずハンドルバーを左に回してください。◀

- ハンドルバーを左または右に回します。



- ハンドルバーを少し動かしながら、キーをポジション **3** に回します。
 - » イグニッション、ライトとすべての電気回路が OFF になります。
 - » ステアリングロックがロックされます。
 - » キーを抜き取ることができます。

電子式イモビライザー (EWS)

モーターサイクルの電子制御システムは、無線ロックのリングアンテナを介して、車両キーに内蔵されているデータを確認します。車両キーが「権限あり」と認識されてはじめて、エンジンコントロールユニットが、エンジン始動を許可します。

▶ その他の車両キー（スペアキーなど）が始動用イグニッションキーと一緒に取り付けられていると、電子機器が「認識されない」ことがあり、エンジンの始動が許可されない場合があります。マルチファンクションディスプレイにEWS 警告が表示されます。

スペアキーは必ず車両キーと別に保管してください。◀

車両キーを紛失したときには、BMW Motorrad ディーラーでそのキーの使用を停止することができます。そのためには必ず、モーターサイクルに付属している他のすべてのキーもお持ちください。

使用停止となった車両キーでエンジンを始動させることはできなくなります。しかし、使用停止となった車両キーを再度登録し直すことは可能です。

非常用および追加のスペアキーは、BMW Motorrad ディーラーからのみ入手できます。車両キーはセーフティシステムの一部ですので、ディーラーではお渡しする方の身元を確認させていただきます。

時計

時計を調整する

 走行中に時計を調整すると、事故につながるおそれがあります。

時計の調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀

- イグニッションを ON にします。
- オンボードコンピューター OE 非装備
- タイヤ空気圧コントロール (RDC) OE 非装備

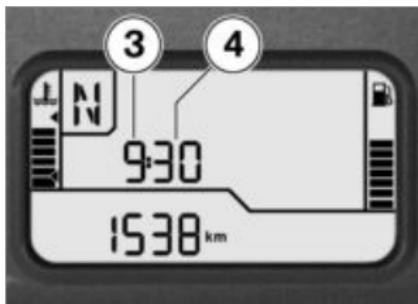


- 総走行距離が表示されるまで、ボタン 1 またはボタン 2 を繰り返し押します。◀

- オンボードコンピューター OE 装備
または
- タイヤ空気圧コントロール (RDC) OE 装備



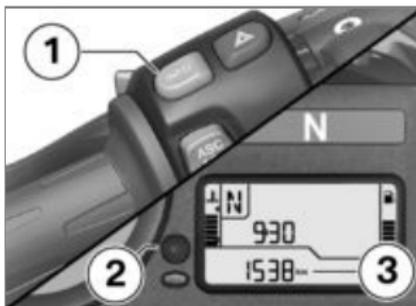
- 時刻が表示されるまで、ボタン 1 を繰り返し操作します。◀



表示

表示を選択する

- イグニッションを ON にします。
- オンボードコンピューターOE 非装備
- タイヤ空気圧コントロール (RDC) OE 非装備



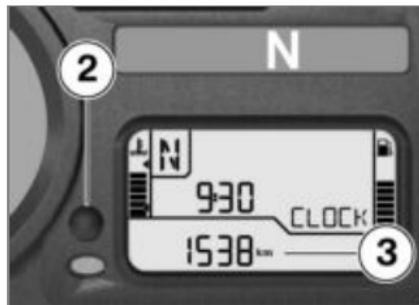
- ボタン **1** またはボタン **2** を押し、フィールド **3** でオドメーターを選択します。

次の値が表示されます：

- 総走行距離
- トリップメーター 1 (Trip I)
- トリップメーター 2 (Trip II)

- 走行可能距離 (リザーブレベル) (リザーブ容量に達してから) <

- オンボードコンピューターOE 装備
または
- タイヤ空気圧コントロール (RDC) OE 装備

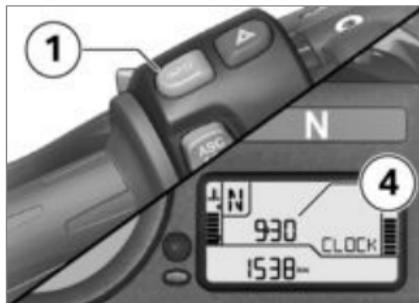


- ボタン **2** を押し、フィールド **3** でオドメーターを選択します。

次の値が表示されます：

- 総走行距離
- トリップメーター 1 (Trip I)
- トリップメーター 2 (Trip II)

- 時間 **3** が点滅するまで、ボタンを押し続けます。
- ボタンを押し、ご希望の時間を表示させます。
- 分 **4** が点滅するまで、ボタンを押します。
- ご希望の分数が表示されるまで、ボタンを繰り返し押します。
- 分が点滅しなくなるまで、ボタンを押し続けます。
- » 設定が終了しました。



- ボタン **1** を押し、フィールド **4** の表示を選択します。
- － オンボードコンピューター OE 装備

次の値が表示されます：

- － 時計 (CLOCK)
- － 周囲温度 (TEMP)
- － 平均速度 (ØSPEED)
- － 平均燃費 (ØFUEL)
- － 走行可能距離 (RANGE)
- － オイルレベル注意 (OIL)

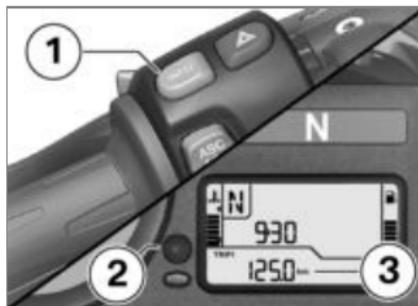
- － タイヤ空気圧コントロール (RDC) OE 装備

次の値が表示されます：

- － タイヤ充填圧 (RDC P)

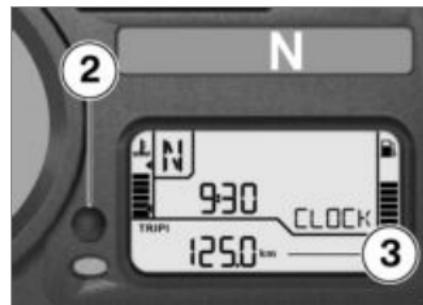
トリップメーターをリセットする

- イグニッションを ON にします。
- 希望のトリップメーターを選択します。
- － オンボードコンピューター OE 非装備
- － タイヤ空気圧コントロール (RDC) OE 非装備



- ボタン **1** またはボタン **2** を押し続け、フィールド **3** のトリップメーターをリセットします。◀

- － オンボードコンピューター OE 装備
- または
- － タイヤ空気圧コントロール (RDC) OE 装備



- ボタン **2** を押し続け、フィールド **3** のトリップメーターをリセットします。◀

平均値をリセットする

- － オンボードコンピューター OE 装備
- イグニッションを ON にします。

- 平均燃費または平均速度を選択します。



- ボタン 1 を押し続け、フィールド 4 に表示されている値をリセットします。

ライト

ポジション / パーキングライト

イグニッションを ON にすると、ポジション / パーキングライトは自動的に ON になります。

▶ ポジション / パーキングライトはバッテリーを消耗させます。必要な場合にのみ、

イグニッションを ON にしてください。◀

ロービーム

エンジンを始動させると、ロービームは自動的に点灯します。

▶ イグニッションを ON にして、ハイビームあるいはパッシングスイッチを操作すると、エンジンを停止した状態でもライトを点灯させることができます。◀

ハイビームとパッシングライト



- スイッチ 1 を前方へ押し、ハイビームを ON にします。
- スイッチ 1 を後方へ引き、パッシングライトを操作します。

パーキングライト

- イグニッションを OFF にします。



- イグニッションを OFF にした直後、パーキングライトが ON になるまで、ボタン **1** を左方向へ押した状態で保ちます。
- パーキングライトを OFF にするため、イグニッションを ON にしてから再び OFF にします。

ウインカー

ウインカーを操作する

- イグニッションを ON にします。

▶ 約 10 秒間、および、約 300 m の距離を走行すると、ウインカーは自動的に OFF になります。◀



- 左側ウインカーを ON にするには、ボタン **1** を左方向へ押しします。
- 右側ウインカーを ON にするには、ボタン **1** を右方向へ押しします。
- ウインカーを OFF にするには、ボタン **1** を中間の位置にします。

ハザードランプ

ハザードランプを操作する

- イグニッションを ON にします。

▶ ハザードランプはバッテリーを消耗させます。ハザードランプは必要な場合だけに使用するようによしてください。◀

▶ イグニッションを ON にした状態で片方のウインカースイッチを押すと、押ししている間はハザードランプ機能がウインカー機能に代わります。ウインカースイッチを押すのをやめると、再びハザードランプ機能が作動します。◀



イグニッションキルスイッチ



1 イグニッションキルスイッチ

! 走行中にイグニッションキルスイッチを操作すると、リヤホイールがロックし、転倒するおそれがあります。走行中はイグニッションキルスイッチを操作しないでください。◀

イグニッションキルスイッチにより、エンジンをすばやく簡単に停止することができます。

- ハザードランプを ON にするには、ボタン **1** を操作します。
- » イグニッションを OFF にすることができます。
- ハザードランプを OFF にするには、ボタン **1** をもう一度操作します。



- a** エンジン停止
b 通常の操作ポジション

グリップヒーター

—グリップヒーター—OE 装備

グリップヒーターを操作する

- エンジンを始動させます。

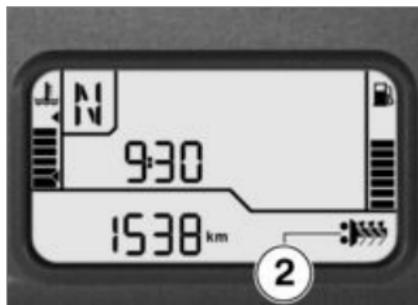
▶ グリップヒーターは、エンジン作動時にのみ作動させることができます。◀

▶ 低回転域では、グリップヒーターによって電力消費が増すことによりバッテリーの放電に至ることがあります。バッ

テリーの充電が十分でない場合、始動性能を保持するために、グリップヒーターが OFF になります。◀



- ボタン **1** を、ご希望の暖房レベルが表示されるまで繰り返し押します。



グリップを 2 段階で暖めることができます。2 段階目 **2** では、グリップを急速に温めることができます。その後、1 段階目に切り替えてください。



ヒーター出力 50%



ヒーター出力 100%

» それ以上変更が行われないと、選択した暖房レベルが設定されます。

BMW Motorrad Integral ABS

ABS 機能を OFF にする

- モーターサイクルを停止させるか、または、モーターサイクルを立てた状態でイグニッションを ON にします。



- ABS 警告灯の表示が変わるまで、ボタン **1** を押し続けます。
- オートマチックスタビリティコントロール^{OE} 装備
- » 次に、ASC アイコンの表示が変化します。ABS 警告灯が反応するまで、ボタン **1** を

押し続けます。この場合、ASC
の設定は変わりません。◀



ABS 警告灯が点灯します。

- ボタン **1** を 2 秒以内に放し
ます。



ABS 警告灯が点灯し続けます。

- » ABS 機能が OFF になります。
インテグラル機能は作動して
います。

ABS 機能を ON にする



- ABS 警告灯の表示が変わるま
で、ボタン **1** を押し続けま
す。



ABS 警告灯が消灯します。
自己診断が終了していな
い場合は、ABS 警告灯が点滅し
始めます。

- ボタン **1** を 2 秒以内に放しま
す。



ABS 警告灯は消灯したまま
か、点滅し続けます。

- » ABS 機能が ON になります。

- 代わりに、イグニッションを
OFF にしてから再び ON にす
ることも可能です。



イグニッションを OFF /
ON にしてさらに 5 km/h 以
上で走行後に ABS 警告灯が点
灯する場合は、ABS が故障して
います。◀

オートマチックスタビリティコントロール (ASC)

— オートマチックスタビリティコントロール^{OE} 装備

ASC 機能を OFF にする

- イグニッションを ON にしま
す。



ASC 機能は走行中も
OFF にすることができます。
◀



- ASC マークの表示が変わるまで、ボタン **1** を押し続けます。



ASC マークが表示されます。

- ボタン **1** を 2 秒以内に放します。



ASC マークが引き続き表示されます。

» ASC 機能が OFF になります。

ASC 機能を ON にする



- ASC マークの表示が変わるまで、ボタン **1** を押し続けます。



ASC マークは表示されなくなります。自己診断が終了していない場合は、ASC マークが点滅し始めます。

- ボタン **1** を 2 秒以内に放します。



ASC マークは表示されなくなるか、点滅を続けます。

» ASC 機能が ON になります。

- 代わりに、イグニッションを OFF にしてから再び ON にすることも可能です。

▶ イグニッションを OFF / ON にしてさらに 5 km/h 以上で走行後に ASC 警告灯が点灯する場合は、ASC が故障しています。◀

クラッチ

クラッチレバーを調整する



クラッチフルードリザーバータンクの位置を変更すると、エアがクラッチシステムに入り込むおそれがあります。ハンドルバーフィッティングを回さないでください。◀



走行中にクラッチレバーを調整すると、事故につながるおそれがあります。クラッチレバーの調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀



ブレーキ

ブレーキレバーを調整する

! ブレーキフルードリザーバータンクの位置を変更すると、エアがブレーキシステムに入り込むおそれがあります。ハンドルバーフィッティングを回さないでください。◀

! 走行中にハンドブレーキレバーを調整すると、事故につながるおそれがあります。ハンドブレーキレバーの調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀

- クラッチレバーとハンドルグリップ間の間隔を大きくするには、アジャストスクリュー **1** を時計回りに回します。
- クラッチレバーとハンドルグリップ間の間隔を小さくするには、アジャストスクリュー **1** を反時計回りに回します。

 その際、クラッチレバーを前へ押し、アジャストスクリューを簡単に回すことができます。◀



- ハンドブレーキレバーとハンドルグリップ間の間隔を大きくするには、アジャストスクリュー **1** を時計回りに回します。
- ハンドブレーキレバーとハンドルグリップ間の間隔を小さくするには、アジャストスクリュー **1** を反時計回りに回します。

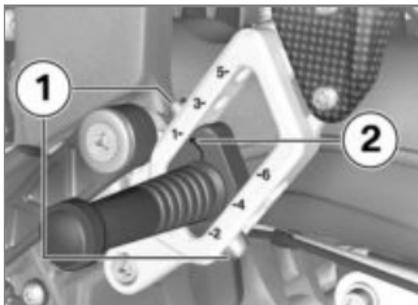
 その際、ブレーキレバーを前へ押し、アジャストスクリューを簡単に回すことができます。◀

フットレスト

－特別仕様モデルK 1300 S (HP
パッケージ付き) OE 装備

フットレストを調整する

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。



- ボルト **1** を取り外します。
 - フットレストを取り外し、任意の位置に位置決めする。その際、フットレストを必要に応じて 180° 回す。
- » 最高位置：矢印 **2** が 6 を示す。

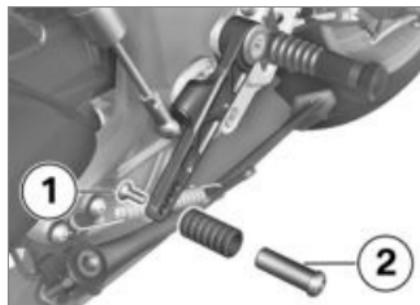
- » 最低位置：矢印 **2** が 1 を示す。
- ボルト **1** を締付けトルクで取り付ける。

	フットレストとホルダー
－HP フットレスト ^{OA} 装備	
19 Nm<	

- 左右のフットレストを同じ位置に取り付ける。

シフトレバーを調整する

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。

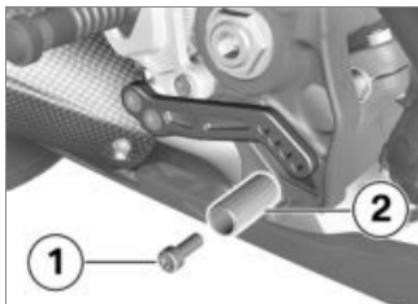


- ボルト **1** を取り外す。その際、ナット **2** を保持する。
- ステップパーツを任意の位置に組み込み、ボルト **1** を締付けトルクで取り付ける。その際、ナット **2** を保持する

	ステップパーツとペダル
－HP フットレスト ^{OA} 装備	
10 Nm<	

ブレーキペダルを調整する

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。



- ボルト **1** を取り外します。
- ステップパーツ **2** を任意の位置に組み込み、ボルト **1** を締め付けトルクで締め付けて取り付ける。

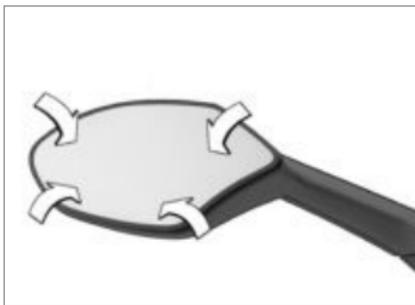


ステップパーツとペダル

- HP フットレスト^{OA} 装備

10 Nm<

ミラー ミラーを調整する



- ミラーの端を軽く押して、ご希望の位置に調整します。

スプリングプリロード 調整

リヤホイールのスプリングプリロードを、モーターサイクルの積載荷重に合わせて調整してください。積載荷重が重くなれば、スプリングプリロードを高く調整し、重量が軽くなれば、それに合わせてスプリングプリロードも低く調整する必要があります。

スプリングプリロードを調整する (リヤホイール)

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。



! スプリングプリロードおよびショックアブソーバーが調整されていない場合、モーターサイクルの走行特性が悪化します。ショックアブソーバーを、スプリングプリロードに合わせて調整します。◀



走行中にスプリングプリロードを調整すると、事故につながるおそれがあります。

スプリングプリロードの調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀

- スプリングプリロードを高くするには、アジャストノブ **1** を矢印の「HIGH」方向へ回します。
- スプリングプリロードを低くするには、アジャストノブ **1** を矢印の「LOW」方向へ回します。



リヤスプリングプリロード基本調整

- Electronic Suspension Adjustment (電子調整式サスペンション) (ESA II) ^{OE} 非装備



リヤスプリングプリロード基本調整

アジャストノブを矢印の「LOW」方向へストップ位置まで回してから、矢印の「HIGH」方向へ 13 クリック分回します (燃料満載、ライダー乗車時 85 kg)◀

ショックアブソーバー調整

ショックアブソーバーは、必ず路面状態およびスプリングプリロードに合わせて、調整してください。

- 凸凹のある路面では、平坦な路面の場合よりも、ショックアブソーバーはソフトに設定されている方が効果的です。
- スプリングプリロードが高い場合は、ショックアブソーバーもハードに調整し、スプリングプリロードが低い場合は、ショッ

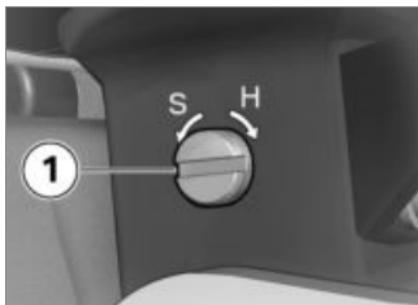
クアブソーバーもソフトに調整する必要があります。

リヤホイールのショックアブソーバーを調整する

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。



- ショックアブソーバーを、ツールを使用してアジャストスクリュー **1** で調整します。



- ショックアブソーバーをハードにするには、アジャストスクリュー **1** を矢印「H」の方向へ回します。
- ショックアブソーバーをソフトにするには、アジャストスクリュー **1** を矢印「S」の方向へ回します。

 リヤショックアブソーバーの基本調整

- Electronic Suspension Adjustment (電子調整式サスペンション) (ESA II) ^{OE} 非装備

 リヤショックアブソーバーの基本調整

アジャストノブを矢印の「H」方向へストップ位置まで回してから、矢印の「S」方向へ1回半回します (燃料満載、ライダー乗車時 85 kg)<

電子調整式サスペンション (ESA)

- Electronic Suspension Adjustment (電子調整式サスペンション) (ESA II) ^{OE} 装備

調整

電子調整式サスペンション (ESA) により、モーターサイクルを荷重条件や地盤状況に合わせて簡単に調整することができます。

3種類の積載条件を設定でき、さらに各積載条件において3種類のショックアブソーバー設定が可能です。

電子調整式サスペンション ESA II に関する詳細な情報については、(▶▶▶ 93) ページ以降をご覧ください。

シャシー設定を表示する

- イグニッションを ON にします。



- 現在の設定を表示させるため、ボタン **1** を操作します。



選択されているショックアブソーバーは、マルチファンクションディスプレイのエリア **1** に表示され、積載条件はエリア **2** に表示されます。各表示には以下の意味があります：

- COMF: 快適なダンピング
- NORM: 通常のダンピング
- SPORT: スポーティなダンピング



1 名乗車時



1 名乗車 + 荷物積載時



2 名乗車 (+ 荷物積載) 時

» 表示は短時間で自動的に消えます。

シャシーを調整する

- エンジンを始動させます。



- ボタン **1** を 1 回操作すると、現在の設定が表示されます。
- ショックアブソーバーを調整するため、希望する設定が表示されるまで、ボタン **1** を繰り返し短押しします。



ダンピングの調整は、走行中でもできます。◀



- 積載条件を設定するため、希望する設定が表示されるまで、ボタン **1** を繰り返し長押しします。



荷重条件は走行中には設定できません。◀



» ボタン **1** をしばらく操作しないでおくと、そのとき表示されていたショックアブソーバーおよび積載条件が設定されます。引き続き、ESA 表示が自動的に消えます。

タイヤ

タイヤ充填圧を点検する



タイヤ充填圧が適正でない場合、モーターサイクルの走行特性に悪影響を及ぼし、タイヤの寿命を縮めます。タイヤ充填圧が正しいか確認してください。◀

 高速で走行していると、遠心力により、垂直に取り付けたタイヤバルブが傾き、少しずつ緩むことがあります。

タイヤ充填圧が突然失われることのないように、ラバーシールの付いたバルブキャップを使用し、確実に締め付けてください。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。
- タイヤ充填圧を、以下のデータを使用して点検します。

 タイヤ充填圧 (フロント)

2.5 bar (タイヤ冷間時)

 タイヤ充填圧 (リヤ)

2.9 bar (タイヤ冷間時)

タイヤ充填圧が不十分な場合：

- タイヤ充填圧を調整します。

ヘッドライト

右側 / 左側通行の国でのヘッドライトの調整

モーターサイクルが反対側通行の国へ入ると、非対称のロービームが対向車を眩惑します。それぞれの状況に合わせたヘッドライトの調整は、BMW Motorrad ディーラーにご依頼ください。

 市販のマスキングテープはプラスチックライトカバーを損傷します。

プラスチックライトカバーの損傷を防ぐため、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。◀

光軸およびスプリングプリロード

通常、積載条件に応じてスプリングプリロードを調整することにより、光軸は常に一定になります。

ただし、負荷が非常に高い場合には、スプリングプリロードを適切

に調整することができません。その場合は、光軸を重量に応じて調整してください。

 光軸調整が正しいか疑わしい場合には、専門の整備工場またはBMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。◀

光軸の調整



1 光軸の調整

負荷が非常に高い場合、スプリングプリロードを適切に調整することができません。対向車を眩惑しないようにするため、スイングレバーを調節することによ

り、光軸の調整を修正することができます。

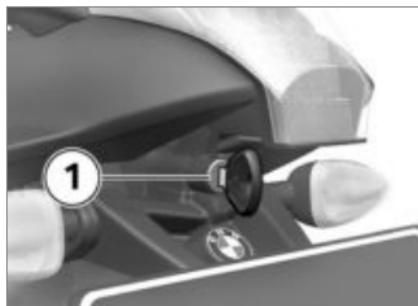


- a 通常の光軸
b 負荷が高い場合の光軸

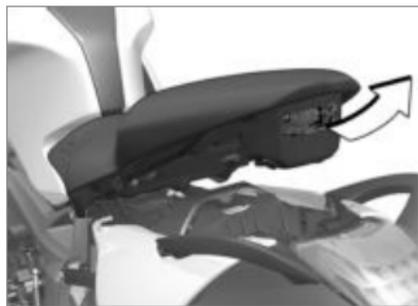
シート

シートを取り外す

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。



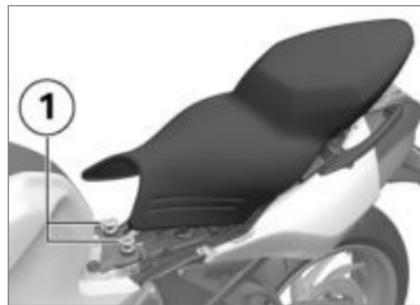
- シートロック **1** を車両キーを使用して左へ回して保つ。その際、シート後ろ側を保持しながら、下方向へ押す。



- シート後ろ側を持ち上げ、キーを放す。

- シートを取り外し、シートのカバー側を下にして、平坦で清潔な場所に置く。

シートを取り付ける

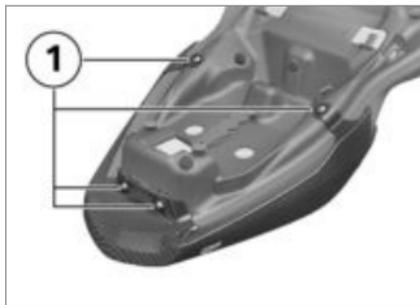


- シートをホルダー **1** に組み込みます。
- リヤシートを下方方向に強く押し込みます。
- » シートがはまる音が聞こえます。

リヤシートカバーを取り外す

- 特別仕様モデルK 1300 S (HPパッケージ付き) OE 装備
- シートを取り外す(▶▶▶ 62)。

- シートをひっくり返す。

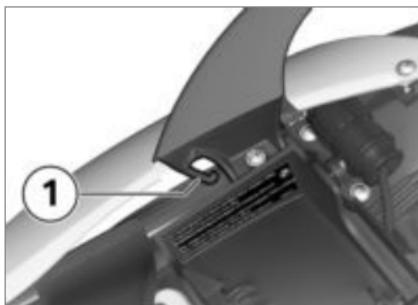


- ボルト **1** を外し、リヤシートカバーを後方へ取り外す。
- シートを取り付ける(▶▶▶ 62)。

ヘルメットホルダー

ヘルメットをモーターサイクルに固定する

- シートを取り外す(▶▶▶ 62)。



! ヘルメットロックがフェアリングを傷つけることがあります。

掛ける際には、ヘルメットロックの位置に注意してください。◀

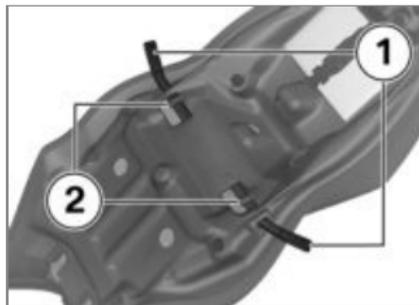
- ヘルメットのチンストラップをヘルメットホルダー **1** (左または右) に掛けます。
- シートを取り付ける(▶▶▶ 62)。

ラゲッジループ

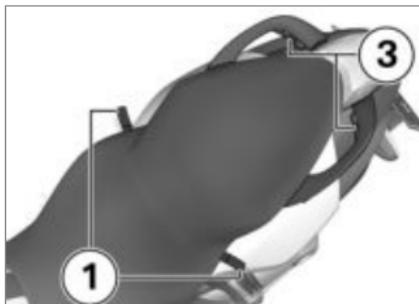
荷物をモーターサイクルに固定する

- シートを取り外す(▶▶▶ 62)。

- シートを裏返します。



- ループバンド **1** をホルダー **2** から取り、外へ向けて出しておきます。
- シートを取り付ける(▶▶▶ 62)。



- ループバンド **1** とグリップのループ **3** をラゲッジストラップと一緒に使用して、荷物をリヤシートに固定します。

盗難警報装置DWA

全体図	66
作動	66
アラーム機能	68
作動解除.....	69
プログラミング.....	70
リモートコントロールの登録.....	71
同調を行う	72
バッテリー	73

全体図

– 盗難警報装置 (DWA) ^{OE} 装備

DWA に関する一般情報

車両を動かそうとしたり、設定を変更しようとしたり、不正に始動しようとしたり、車両のバッテリーを外そうとしたりすると、アラームが発報します。システムの感度は、車両がちょっと振動したくらいではアラームが発報しないように設定されています。システムを ON にした後、怪しい動きがあると、警報音としてサイレンが、視覚的には全ウインカー 4 個が同調して信号を発します。

盗難警報装置 (DWA) の作動の一部はご希望に合わせた設定にすることができます。

車両バッテリーの保護

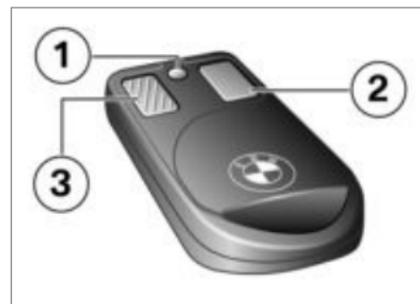
車両のバッテリーの保護および始動性能の保持のため、ON になっている盗難警報装置 (DWA) は、数日後に自動的に OFF になりま

す。ただし、少なくとも 10 日間は ON の状態のままです。

無線障害

盗難警報装置 (DWA) のリモートコントロールと同様の周波数の無線技術的なシステムやデバイスがあると、その機能に障害が発生するおそれがあります。そのような場合には、リモートコントロールを他の方向から車両に向けてください。

操作エレメント



- 1 LED
- 2 右側ボタン (▶▶▶ 68)
- 3 左側ボタン (ぎざぎざ面) (▶▶▶ 67)

▶ 当該車両の取扱説明書で車両の LED インジケータ位置を確認してください。◀

作動

– 盗難警報装置 (DWA) ^{OE} 装備

モーションセンサーを使用して ON にする



アラーム機能が ON になる

- リモートコントロールのボタン **1** を 1 回操作することにより、または
- イグニッション OFF により (プログラミングされている場合); イグニッション OFF 後、作動フェーズまで 30 秒かかります

アクティブ化の確認

- ウィンカーが 2 回点滅する、および

- アラーム音が 2 回鳴ります。

アラーム機能を ON にする場合には、イグニッション OFF 後 1 分を経過してから、ボタン **1** を 1 秒以上、押す必要があります。何も刺激となることがない状態で約 1 時間が経過すると、バッテリーの保護のため、DWA は OFF になります。この時間の経過後にアラーム機能を ON にするには、イグニッションを一旦 ON にしてから、再び OFF にする必要があります。

アクティブ化フェーズ

盗難警報装置が最終的にアクティブな状態になるには、15 秒かかります。この間は、アラームは発報しません。

バッテリーの保護



アラーム機能を ON にする場合には、イグニッション OFF 後の経過時間が 1 分を超えてから、ボタン **1** を 1 秒超、押す必要があります。非アクティブな状態で約 1 時間が経過すると、バッテリーの保護のため、DWA は OFF になります。この時間の経過後にアラーム機能を ON にするには、イグニッションを一旦 ON にしてから、再び OFF にする必要があります。

モーターサイクルの搬送時の モーションセンサー

モーターサイクルを列車などで搬送する場合、モーションセンサーを OFF にしてください。ひどい揺れなどの場合に、思いがけなく警報が発せられるおそれがあります。

モーションセンサーを作動解除する



- リモートコントロールのボタン **1** を、作動段階の間に再度押します。
- » ウィンカーが 3 回点灯します。

- » アラーム音が 3 回鳴ります。
- » モーションセンサーが作動解除されています。

アラーム機能

- 盗難警報装置 (DWA) ^{OE} 装備

アラームの発報

アラームの発報は、以下によっても引き起こされることがあります：

- モーションセンサー
- 権限のないキーによるイグニッション ON 操作
- DWA を車両バッテリーから外す (DWA バッテリーは電源供給を担っています)。

アラーム



アラームの発報時間は 26 秒間です。その後 12 秒が経過すると、システムは再び作動状態になります。発報しているアラームは、リモートコントロールのボタン **2** を押すことで、いつでも中断できます。この機能は、盗難警報装置のステータスを変更するものではありません。

発報中は、アラーム音が鳴り、ウィンカーが点滅します。アラーム音の種類は、プログラミング可能です。

アラーム発報の原因

アラーム発報があった場合には、アラーム機能 OFF 後に、原因を DWA 表示灯が 1 分間、信号で知らせます：

- 1 回点滅：モーションセンサー；モーターサイクルが前へ / 後ろへ傾いた
- 2 回点滅：モーションセンサー；モーターサイクルが横に傾いた
- 3 回点滅：権限のないキーによるイグニッション ON
- 4 回点滅：車両バッテリーから DWA が外されている

アラームの発報に関する注意

アラーム機能を前回 ON にした後にはアラームが発報した場合には、イグニッション ON 後に信号音が 1 回鳴ることにより、それを知らせます。

作動解除

- 盗難警報装置 (DWA) ^{OE} 装備

アラーム機能を OFF にする



- リモートコントロールのボタン **2** を 1 回操作するか、またはイグニッションを権限のあるキーを使用して ON にします。

▶ イグニッションキルスイッチが通常の操作位置にあるとき、アラーム機能は、イグニッションキーを使用してのみ作動解除することができます。◀

▶ アラーム機能がリモートコントロールを介して OFF になり、そのままイグニッションが ON にされない場合、「イグニッション OFF 後に ON の状態にする」がプログラミングされていると、アラーム機能は 30 秒後に自動的に再び ON の状態になります。◀

- » ウィンカーが 1 回点灯します。
- » アラーム音が 1 回鳴ります (プログラミングされている場合)。
- » アラーム機能は OFF の状態です。

バッテリーの保護

アクティブな状態で約 1 時間が経過すると、バッテリー保護のため、DWA 内のリモートコントロール用レシーバーは OFF になります。この時間の経過後にはアラーム機能を OFF にするには、イグニッションを ON にする必要があります。

プログラミング

– 盗難警報装置 (DWA) ^{OE} 装備

プログラミングの方法

盗難警報装置は、以下の点において、個々の必要に対応させることができます：

- 盗難警報装置 (DWA) の ON / OFF 後に、ウインカーの点灯に加えて、さらに確認アラーム音
- 強弱の波のあるタイプまたは断続的なタイプのアラーム音
- イグニッション OFF 時にアラーム機能を自動的に ON にする

工場での調整

盗難警報装置 (DWA) は、以下のように工場で調整されて供給されます：

- DWA ON / OFF 後の確認用アラーム音：なし
- アラーム音：断続的なタイプ

– イグニッション OFF 時にアラーム機能を自動的に ON にする：いいえ

DWA をプログラミングする



- アラーム機能を OFF にします。
- イグニッションを ON にします。
- ボタン **1** を 3 回押します。
 » 操作音が 1 回鳴ります。
- 10 秒以内にイグニッションを OFF にします。
- ボタン **2** を 3 回押します。
 » 操作音が 1 回鳴ります。

- 10 秒以内に、イグニッションを ON にします。
 » 操作音が 3 回鳴ります。
 » プログラミング機能は作動状態です。

プログラミングは 4 ステップから成りますが、ステップ 2 には何も機能は割り当てられていません。車両の DWA 表示灯における点滅数は、アクティブなプログラミングステップを示します。ボタン **1** の操作はアラーム音により、ボタン **2** の操作は操作音により、確定が確認されます。

• **ステップ 1:** DWA の ON / OFF 後、操作音を鳴らしますか？
はい：

- ボタン **1** を押します。

いいえ：

- ボタン **2** を押します。

• ステップ 2:

このステップには機能は割り当てられていません。

- ボタン **1** またはボタン **2** を操作します。

• ステップ 3: どのアラーム音を選択しますか？

強弱の波のあるタイプ：

- ボタン **1** を押します。

断続的なタイプ：

- ボタン **2** を押します。

• ステップ 4: イグニッション OFF の後、アラーム機能が自動的に ON になるようにしますか？

はい：

- ボタン **1** を押します。

いいえ：

- ボタン **2** を押します。

プログラミングは、いつキャンセルされますか？

プログラミングは、以下の場合にキャンセルされます

- 最終プログラミングステップの前に、イグニッションを OFF にした場合。
- または、2つのプログラミングステップ間で経過時間が 30 秒を超えた場合に、自動的に。

プログラミングのキャンセル時には、データは保存されません。

プログラミングを保存する

プログラミングが保存されます

- 最後のプログラミングステップの後にイグニッションを OFF にすることにより
- または、最後のプログラミングステップの 30 秒後に、自動的に

DWA 表示灯が点滅をやめ、操作音を 4 回鳴らします。

リモートコントロールの登録

- 盗難警報装置 (DWA) OE 装備

リモートコントロールの登録は、いつ必要になりますか？

リモートコントロールの追加登録を行う場合、または、紛失したリモートコントロールの交換をした場合、すべてのリモートコントロールを盗難警報装置 (DWA) に登録する必要があります。リモートコントロールは、4 個まで登録することができます。

リモートコントロールを登録する



- アラーム機能を OFF にします。
- イグニッションを ON にします。
- ボタン **2** を 3 回押します。
 » 操作音が 1 回鳴ります。
- 10 秒以内にイグニッションを OFF にします。
- ボタン **2** を 3 回押します。
 » 操作音が 1 回鳴ります。
- 10 秒以内に、イグニッションを ON にします。

- » 操作音が 2 回鳴ります。
- DWA ではリモートコントロールを 4 個まで登録することができます。各リモートコントロールの登録は 3 ステップで行われます。
- ボタン **1** とボタン **2** を押し続けます。
- » LED が 10 秒間点滅します。
- LED の消灯後ただちに、ボタン **1** およびボタン **2** を放します。
- » LED が点灯します。
- ボタン **1** またはボタン **2** を操作します。
- » アラーム音が 1 回鳴ります。
- » LED が消灯します。
- » リモートコントロールが登録されています。
- 他のすべてのリモートコントロール用に、前述の 3 つの作業手順を繰り返してください。

登録を終了する

ログインは以下の状況において終了します：

- リモートコントロールが 4 個登録されました。
- イグニッションを OFF にします。
- イグニッション OFF の後、30 秒間いずれのボタンも押されなかった場合。
- リモートコントロールの登録後、30 秒間いずれのボタンも押されなかった場合。

登録の終了後、LED が点滅し、終了音が 3 回鳴ります。

同調を行う

- 盗難警報装置 (DWA) OE 装備

リモートコントロールの同調は、いつ必要になりますか？

リモートコントロールの同調は、レシーバーの受信範囲外で、リモートコントロールのボタン操作が 256 回を超えた場合に必要となります。この場合には、車両のレシーバーは、リモートコントロールの信号に反応しなくなります。

リモートコントロールの同調を行う



- ボタン **1** とボタン **2** を押し続けます。
- » LED が 10 秒間点滅します。

- LED の消灯後ただちに、ボタン **1** およびボタン **2** を放します。
- » LED が点灯します。
- ボタン **1** またはボタン **2** を操作します。
- » LED が消灯します。
- リモートコントロールは同調済みです。

バッテリー

– 盗難警報装置 (DWA) OE 装備

バッテリー交換は、いつ必要になりますか？

リモートコントロールのバッテリーは、約 2 ～ 3 年後に交換する必要があります。バッテリーが弱っているかどうかは、LED がボタンの操作時に点灯しない、または、短時間しか点灯しないことで識別することができます。

バッテリーを交換する

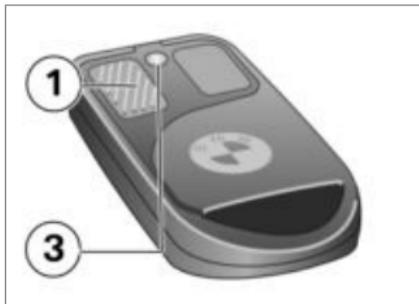


- ボルト **4** を外し、ケース下側 **5** を取り外します。
- 既存のバッテリー **8** (クランプ **6** の下の) を押しずらします。

⚠ バッテリータイプが不適切な場合や極性に誤りがある場合、機器が損傷するおそれがあります。

規定のバッテリーを使用してください (「テクニカルデータ」の章を参照)。バッテリーを組み込む際に、極性が正しいか確認してください。◀

- 新品のバッテリーを組み込みます。その際、バッテリーのプラス極が上側にくるように注意してください。
- ケース下側を前端の突起部 **9** にはめ合わせて閉じます。その際、両側のガイドピン **7** に注意してください。
- ボルト **4** を取り付けます。
- » リモートコントロールの LED が点灯します。この場合、リモートコントロールの同調を行う必要があります。



- リモートコントロールの同調のため、レシーバーの受信範囲

内でボタン **1** を 2 回押し
ます。

- » LED **3** が点滅を始め、数秒後に消灯します。
- » リモートコントロールは再び待機状態になっています。

走行

安全に関する注意事項.....	76
チェックリスト.....	78
始動.....	78
慣らし走行.....	80
ギヤチェンジ.....	81
ブレーキ.....	82
駐車する.....	83
給油.....	84
モーターサイクルを搬送用に固定します.....	85

安全に関する注意事項

ライダーエクイップメント

正しい装備品を装着 / 着用しない
いでモーターサイクルに乗ることは、
極めて危険です。次のアイテムを、
必ず装着 / 着用してください。

- ヘルメット
- ライディングスーツ
- グローブ
- ブーツ

走行距離の長短や天候にかかわらず、
これらのアイテムは必ず装着 / 着用しな
ければなりません。BMW Motorrad ディー
ラーは喜んでご相談に応じます。また、
それぞれの目的に合わせた、適切なア
イテムをご用意しています。

荷物の積み込み



積載量をオーバーしたり、
荷物のバランスが悪いと、
モーターサイクルの走行安定性

に悪影響を及ぼすおそれがあります。

許容総重量を超えないようにし、
積載に関する注意をお守りくだ
さい。◀

- スプリングプリロードの設定、
ショックアブソーバーの設定、
タイヤ充填圧を総重量に合わせ
て調整します。
- ケース^{OA} 装備
- ケースの容量が左右均等になっ
ているか確認します。
- 重量が左右均等になっている
か確認します。
- 重いものはバッグの下部の内側
に入れます。
- ケース内の注意ラベルに記載さ
れている最大積載荷重および最
高速度を順守してください。◀
- ラゲッジブリッジ^{OE} 装備
- ラゲッジラックの最大積載荷重
に注意してください。

 ラゲッジラックの積載 荷重
- ラゲッジブリッジ ^{OA} 装備 または - ラゲッジブリッジ ^{OE} 装備
max 5 kg◀◀

- タンクバッグ^{OA} 装備
- タンクバッグの最大積載荷重お
よび対応する最高速度を遵守し
てください。

 タンクバッグの積載容量
max 5 kg

 タンクバッグ装着時の最 高速度
max 130 km/h◀

- タンクポシェット^{OA} 装備
- タンクポシェットの最大積載荷
重および対応する最高速度を遵
守してください。



タンクポシエットの積載
荷重

≤5 kg



タンクポシエット装着時
の最高速度

≤130 km/h<

車速

高速走行時には、さまざまな周辺状況が、モーターサイクルの走行特性に悪影響を及ぼす可能性があります。

- スプリングプリロードおよびショックアブソーバーを調整する
- 荷物のアンバランス
- 不適切な服装
- タイヤ充填圧が低すぎる
- タイヤの摩耗
- その他

有毒物質

排気ガスは無色無臭ですが、たいへん有毒な一酸化炭素を含有しています。



排気ガスを吸い込むと健康を害し、意識を失ったり、場合によっては死亡するおそれがあります。

排ガスを吸い込まないようにしてください。閉め切った場所で、エンジンを作動させないでください。◀

火傷の危険



走行中、エンジンおよびエキゾーストシステムは極めて高温になります。接触による火傷の危険があります。モーターサイクルを駐車した後、誰もエンジンやエキゾーストシステムに触れないように注意してください。◀

触媒コンバーター

ミスファイアーにより触媒コンバーターに未燃焼のガソリンが流入した場合、オーバーヒートや損傷が生じるおそれがあります。そのため、次の項目を守ってください。

- フューエルタンクを空にしない
- スパークプラグのキャップを外したままエンジンを作動させない
- ミスファイアーが発生した場合は、ただちにエンジンを停止させる
- 必ず無鉛ガソリンを使用する
- 指定されているメンテナンスを定期的実施する



未燃焼ガスは触媒コンバーターを破損させます。触媒コンバーターの保護のため、作動ポイントに注意してください。◀

オーバーヒート

 エンジンを長時間アイドリングしたままにすると、冷却が十分に行われず、オーバーヒートが発生するおそれがあります。極端なケースでは、車両火災が発生するおそれもあります。

エンジンを不必要にアイドリングしたままにしないでください。エンジンを始動したら、ただちに発進してください。◀

改造

 モーターサイクル（エンジンコントロールユニット、スロットルバタフライ、クラッチなど）に改造を施した場合、部品を損傷し、安全に関わる機能の故障を招くおそれがあります。それに起因する損傷に対しては、保証は適用されません。いかなる改造も行わないでください。◀

チェックリスト

以下のチェックリストを利用して、走行前には必ず、重要な機能、設定、摩耗限度について点検してください。

- ブレーキ機能
- フロント / リヤブレーキフルードレベル
- クラッチ機能
- クラッチフルードレベル
- ショックアブソーバーの調整 / スプリングプリロードの調整
- トレッドの溝の深さおよびタイヤ充填圧
- ケースおよび荷物のより確実な固定。

定期的に点検してください：

- エンジンオイルレベル（燃料補給ごと）
- ブレーキパッドの摩耗（燃料補給 3 回に 1 度）。

始動

エンジンを始動する

- イグニッションを ON にします。
- » Pre-Ride-Check（走行前点検）が行われます。(▶▶ 79)
- » ABS 自己診断が実施されます。(▶▶ 79)
- オートマチックスタビリティコントロール^{OE} 装備
- » ASC 自己診断が実施されます。(▶▶ 80)◀
- ニュートラルに設定するか、ギヤを入れた状態でクラッチを切ります。

 サイドスタンドを立てている状態でもギヤを入れることはできませんが、モーターサイクルを発進させることはできません。モーターサイクルをニュートラルで始動させ、サイドスタンドを出した状態で 1 速に入れると、エンジンは停止します。◀

- コールドスタート時や外気温度が低い場合には、クラッチを切り、スロットルグリップを少し操作します。



- スターターボタン **1** を押します。

▶ バッテリー電圧が十分でない場合、始動動作は自動的に中断されます。始動操作を続ける前に、バッテリーを充電するか、ジャンプスタートを行ってください。

詳細については、「メンテナンス」の章のジャンプスタートを参照してください。◀

- » エンジンが始動します。
- » エンジンが始動しない場合は、次のトラブルシューティングをご覧ください。(▶▶▶ 138)

Pre-Ride-Check (走行前点検)

イグニッションを ON にした後、メーターパネルがジェネラル警告灯のテスト、"Pre-Ride-Check" (走行前点検) を実行します。その終了前にエンジンを始動すると、テストは中断されます。

初期化するためにエキゾーストフラップが一度完全に開いてから、再び閉じます。

ステップ 1

 ジェネラル警告灯 (赤) が点灯します。

– CHECK!が表示されます。

ステップ 2

 ジェネラル警告灯 (黄) が点灯します。

– CHECK!が表示されます。

ジェネラル警告灯が表示されない場合:

 ジェネラル警告灯が表示されない場合、機能障害がいくつか表示されないおそれがあります。

ジェネラル警告灯の表示 (赤および黄) に注意してください。◀

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

ABS 自己診断

BMW Motorrad Integral ABS の作動可能状態は、自己診断により点検されます。自己診断は、イグニッションを ON にすると自動的に始まります。

ステップ 1

- » 診断可能なシステムコンポーネントを停止状態で点検します。



ABS 警告灯が点滅します。

ステップ 2

- » 発進時に ABS センサーを点検します。ABS 自己診断を終了するため、モーターサイクルを 5 km/h 以上で走行させる必要があります。



ABS 警告灯が点滅します。

ABS 自己診断が終了

- » ABS 警告灯が消灯します。

ABS 自己診断の終了後、ABS の故障が表示される場合：

- 走行を続けることは可能です。ABS 機能もインテグラル機能も使用できないことに注意してください。

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

ASC 自己診断

オートマチックスタビリティコントロール^{OE} 装備

BMW Motorrad ASC の作動可能状態は、自己診断により点検されます。自己診断は、イグニッションを ON にすると自動的に始まります。

ステップ 1

- » 診断可能なシステムコンポーネントを停止状態で点検します。



ASC マークが点滅します。

ステップ 2

- » 発進時に診断可能なシステムコンポーネントの点検 ASC 自己診断を終了するため、エンジン

を始動させてモーターサイクルを 5 km/h 以上で走行させる必要があります。



ASC マークが点滅します。

ASC 自己診断が終了

- » ASC アイコンが表示されなくなります。

ASC 自己診断の終了後、ASC の故障が表示される場合：

- 走行を続けることは可能です。ASC 機能が使用できないことに注意してください。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

慣らし走行

エンジン

- 最初の慣らし運転までは、負荷範囲とエンジン回転数域を頻繁に変化させてください。一

定の回転数での長時間の走行は避けてください。

- 初めて走行するときは、幹線道路や高速道路よりも、カーブが多く、なだらかな坂のある道を選び、十分に慎重な走行をするようにしてください。
- 慣らし走行中のエンジン回転数を順守してください。



慣らし走行中のエンジン
回転数

<7000 min⁻¹

- 500～1200 km の間に、必ず初回点検を行ってください。

ブレーキパッド

新品のブレーキパッドは、最適な摩擦力に達するまで、慣らし走行が必要です。この段階のブレーキの効きの弱さは、ブレーキレバーを強く握ることで補うことができます。



新品のブレーキパッドの場合、制動距離が大幅に長くなるおそれがあります。早めにブレーキングしてください。◀

タイヤ

新しいタイヤの表面はきわめてなめらかな状態です。したがって、表面が適度に荒れるまで、慎重に慣らし走行を行う必要があります。タイヤの持つ最大のグリップ力を引き出すためには、この慣らし手順を必ず実行してください。



新しいタイヤではグリップ性能がまだ十分に発揮されません。特に路面が濡れている場合や傾斜のある場所では事故を起こす危険があります。よく前方に注意して走行し、急な傾斜のある場所は回避してください。◀

ギヤチェンジ

–シフトアシスト^{OE} 装備

シフトアシスト

この車両は、レンシュポルト（レーススポーツ）スタイルに基づいて開発されたシフトアシストを使用して設計されています。このシフトアシストは、ほとんどすべてのスロットル開度とエンジン回転数域においてクラッチ操作およびスロットル操作なしでシフトアップを可能にするものです。加速時にスロットルバタフライを開いたまま保つことができ、切替時間を最短にまで短縮します。ギヤ入れは従来どおりシフトレバーを踏み込んで行います。



シフトロッドのセンサー **1** は、ご希望のシフトを検知し、シフトサポートを介入させます。

定速走行時にローギヤのまま高回転数に達すると、クラッチ操作なしでのシフトアップは過度な荷重移動による反応を招くおそれがあります。BMW Motorrad は、このような走行状況の場合にはクラッチ操作を伴うシフトアップをお勧めします。限度回転数域におけるシフトアシストの使用は避けてください。

以下の状況では、シフトアシストは作動しません：

- クラッチを操作しながらのシフト動作
- スロットルバタフライを閉じた状態でのシフト動作（惰走）
- シフトダウン時。

ブレーキ

制動距離を最短にするには？

フロント / リヤホイール間の力学的な負荷配分は、ブレーキングによって変わります。ブレーキングが強くなるほど、フロントホイールにはより大きな負荷がかかります。そしてホイールにかかる負荷が大きくなるほど、より大きなブレーキフォースが伝達されます。

制動距離を最短にするには、徐々に強くなるようフロントブレーキをかけることが必要です。それにより、フロントホイールにかかる負荷の力学的な増加が、最も効

果的に利用されます。同時に、クラッチは切っておく必要があります。しばしばトレーニングされる「緊急ブレーキ」では、ブレーキ圧ができるかぎり早急に最大の力で生成されます。力学的な負荷配分が減速に追いつけなくなり、ブレーキフォースが完全には路面に伝達できなくなります。

BMW Motorrad は、フロントホイールのロックを防ぎます。

下り坂

 下り坂で、リヤブレーキばかりを使用していると、ブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。最悪の場合、ブレーキが熱くなりすぎて破損することがあります。

BMW インテグラルブレーキ機能によって、ハンドブレーキレバーを操作すると、リヤブレーキも作動し、過熱を防ぎます。前輪ブレーキだけを操作し、エンジンブレーキを使用します。◀

濡れて汚れたブレーキ

ブレーキディスクやブレーキパッドが濡れていたり汚れていたりすると、ブレーキの効きが悪くなります。

以下の状況では、ブレーキの効きが遅れたり悪くなったりすることを、必ず考慮してください：

- 雨天走行時や、水たまりの中を走行した場合。
- 洗車の後。
- 塩が撒かれた路面を走行したとき。
- ブレーキ関連作業の後で、オイルやグリースの残留物による。
- 汚れている路面や、オフロードの走行時。

 濡れた路面や汚れが原因のブレーキの効きの悪さ。ブレーキを乾燥させて汚れをとり、必要に応じて清掃します。再び制動力を完全に発揮できるようになるまでは、ブレーキを早めに操作してください。◀

駐車する

サイドスタンド

- エンジンを停止させます。

 路面状態が悪いと、確実に停車させることができません。

スタンドを立てる路面が、平坦で固くしっかりとしているか確認してください。◀

- サイドスタンドを出し、モーターサイクルを立てます。

 サイドスタンドは、車両の重量のみを支えられるように設計されています。サイドスタンドを立てた状態で、車両に着座しないでください。◀

- 路面の傾斜に無理がなければ、ハンドルバーを左へ回しておきます。
- 下り坂では、モーターサイクルを上る方向に向けて、1速に入れます。

センタースタンド

- 第II世代センタースタンド^{OA}装備

- エンジンを停止させます。

 路面状態が悪いと、確実に停車させることができません。

スタンドを立てる路面が、平坦で固くしっかりとしているか確認してください。◀

 メイン（センター）スタンドは激しく動かされると跳ね上がることがあり、モーターサイクルが転倒するおそれがあります。

メイン（センター）スタンドを立てた状態で、車両に着座しないでください。◀

- メイン（センター）スタンドを出し、モーターサイクルを立てます。

給油

燃料品質

最適な燃費となるよう、硫黄フリーの、またはできる限り硫黄が少ない燃料を使用してください。

! 有鉛ガソリンを使用すると、触媒コンバーターが破損します。

有鉛ガソリンやマンガン/鉄などの金属添加物を含む燃料は決して給油しないでください。◀

- エタノールの割合が最大で10%、つまり E10 燃料を使用することができます。



推奨フューエルグレード

無鉛プレミアム (Superplus)
(エタノール 10 %以下、E10)
98 ROZ/RON
91 AKI

給油手順

! フューエルは簡単に引火します。フューエルタンクに火を近づけると、火災や爆発が起こる可能性があります。フューエルタンクに関する作業時には、いかなる場合でも、決してタバコを吸ったり、火を使ったりしないでください。◀

! フューエルは、高温になると膨張します。フューエルタンクからフューエルがあふれ、路面に至ることがあります。それにより、転倒するおそれがあります。フューエルタンクを充填しすぎないでください。◀

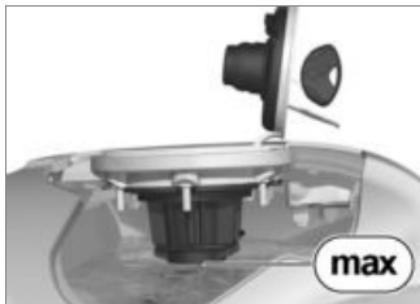
! フューエルはプラスチックの表面を傷めるため、表面の光沢がなくなったり、外観が損なわれたりします。プラスチック部品がガソリンと接触した場合は、すぐに拭き取ってください。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをサイドスタンドで立てます。

▷ サイドスタンドを立てているだけの場合には、使用できるタンク容量は、まっすぐにした状態でのタンク容量になります。◀



- 保護キャップを開きます。
- フューエルタンクキャップを車両キーを使用してロック解除し、開きます。



- 燃料の補給はフィラーネックの下端までに行ってください。

▶ リザーブ容量を下回った後に給油を行う場合、給油後の総容量がリザーブ容量を上回る必要があります。これにより新たな充填レベルが検知され、燃料残量警告灯が消灯します。◀

▶ 仕様（諸元）に記載されている「フューエル容量」は、フューエルタンクが空になっているとき、すなわち燃料不足でエンジンが停止したときに給油できる燃料の量です。◀

 フューエル容量

約 19 l

 フューエルリザーブ容量

約 4 l

- フューエルタンクキャップを強く押して閉めます。
- キーを抜き取り、保護キャップを閉めます。

モーターサイクルを搬送用に固定します

- テンションストラップが取り回されているすべてのコンポーネントを、損傷しないように保護します。接着テープや柔らかなウェスなどを使用してください。



 モーターサイクルが横に傾き、倒れるおそれがあります。

もう一人の人にサポートしてもらい、モーターサイクルが横に傾かないように固定します。◀

- モーターサイクルを搬送用プレートの上へ移動させます。サイドスタンドやメイン（センター）スタンドで立てないでください。



! コンポーネントが損傷するおそれがあります。

コンポーネント（ブレーキラインやケーブルなど）が挟み込まれないようにしてください。◀

- フロント側テンションストラップをフレームの上ののせ、下へ取り回します。
- テンションストラップをホイールキャリアに通して前に出し、下へ引っ張ります。



- リヤ側テンションストラップをパッセンジャー用フットレスト部分に取り付けて固定し、ピンと張ります。
- すべてのテンションストラップを均等に張り、車両ができるかぎりしっかりと固定されるようにします。

技術情報

ブレーキシステム (BMW Motorrad Integral ABS 装備)	88
エンジンマネジメントシステム (BMW Motorrad ASC 装備)	90
タイヤ空気圧コントロール (RDC)	91
電子調整式サスペンション (電子調 整式サスペンション) (ESA II)	93

ブレーキシステム (BMW Motorrad Integral ABS 装備)

パーシャリーインテグラルブレーキ

このモーターサイクルには、パーシャリーインテグラルブレーキが装備されています。このブレーキシステムでは、ブレーキレバーを操作するとフロント/リアホイールのブレーキが一緒に作動します。ブレーキペダルを操作した場合、リヤブレーキのみの作動となります。

BMW Motorrad Integral ABS は、ブレーキング中のフロントおよびリアホイールブレーキへのブレーキフォース配分を、モーターサイクルの荷重状態に合わせて行います。



フロントブレーキをかけた際に引き起こされる後輪の空転 (Burn Out) は、インテグラル機能により、不可能です。

リヤブレーキおよびクラッチが損傷するおそれがあります。Burn Out を行わないでください。◀

ABS はどのように作動するのでしょうか？

路面に伝達される最大ブレーキフォースは、様々な要因の中でも、路面の摩擦係数に依存しています。砂利、凍結、雪、水に覆われた路面の摩擦係数は、乾いた、クリーンなアスファルトの路面に比べてはるかに低いものになります。路面の摩擦係数が低くなるほど、制動距離は長くなります。

ライダーがブレーキ圧を上げたときに、路面にかかる最大ブレーキフォースが限界を超えると、ホイールがロックし、方向安定性が失われます。そのため、転倒するおそれがあります。このような状況になる前に、ABS が介入して、ブレーキ圧を伝達される最大ブレーキフォースに適

応させます。それによりホイールが回転し続け、路面状態に関係なく走行安定性が維持されます。

凸凹のある路面で起こることは？

起伏や凸凹のある路面によって、タイヤと路面のコンタクトが一時的に失われ、その結果、伝達されるブレーキフォースがゼロに落ち込むということが起こりえます。このような状況でブレーキングが行われる場合、路面とのコンタクトが復活したときに走行安定性を確保するため、ABS はブレーキ圧を下げる必要があります。このときBMW Motorrad Integral ABS は、想定しうるいかなる状況においてもホイールが回転し、それによりモーターサイクルの安定性が確実になるよう、摩擦係数 (砂利、凍結、雪の場合) をかなり低く見積っています。実際の状況が明らかになっ

た後、システムはブレーキ圧を最適な値にセットしなおします。

BMW Motorrad Integral ABS の作動は、ライダーにとってどのように感じられるでしょうか？

上記の状況のために ABS システムがブレーキフォースを制限する必要がある場合、ブレーキレバーに振動が感じられます。ブレーキレバーを操作すると、インテグラル機能によりリヤホイールでもブレーキ圧が生成されます。その後ブレーキペダルを操作すると、ブレーキペダルをブレーキレバー操作の前または同時に操作したかのように、すでに生成されているブレーキ圧が背圧として感じられます。

リヤホイールの浮き上がり

タイヤの路面に対するグリップ力が高い場合に強いブレーキをかけると、フロントホイールはかなり経ってからロックするか、

またはロックしません。それに応じて、ABS 制御も大幅に遅れるか、または作動しません。この場合、リヤホイールが浮き上がることがあり、モーターサイクルの転倒につながるおそれがあります。



急激なブレーキングを行うと、リヤホイールが浮き上がるおそれがあります。ブレーキング時には、ABS 制御は、必ずしも常にリヤホイールが浮き上がることを防ぐものではないことに注意してください。◀

BMW Motorrad Integral ABS はどのように設計されているのでしょうか？

BMW Motorrad Integral ABS は、物理的限界内で、さまざまな路面における走行安定性を確保するためのものです。このシステムは、オフロードレースやレーストラックの過酷な状況で生じるような、特別な要求を満たす

ために設計されたものではありません。

特殊な状況

ホイールのロックを検知するために、特にフロントおよびリヤホイールの回転数が比較されます。一定の時間以上、検知される値が正常でない場合、安全のために ABS 機能が停止し、ABS の故障が表示されます。エラーメッセージの表示には、自己診断が終了していることが前提となります。

BMW Motorrad Integral ABS に問題がある場合以外に、特殊な運転 / 走行状態が原因でエラーメッセージが表示される場合があります。

特殊な運転 / 走行状態：

- センタースタンドまたは補助スタンドで車両を立てた状態で、ニュートラルでまたはギヤを入れて暖機運転する。
- エンジンブレーキによる長時間のリヤホイールのロック (オ

フロード走行時の緩い路面においてなど)。

上記のいずれかの運転 / 走行状態によりエラーメッセージが表示された場合には、ABS 機能はイグニッションを ON / OFF にすることにより再び作動状態にできます。

定期的なメンテナンスの役割りとは？

 技術システムはすべて、常に良好な整備状態にしておいてください。

ABS を確実に最適な整備状態にしておくために、規定の定期点検時期を必ず順守してください。◀

安全を確保するための予防措置

BMW Motorrad Integral ABS により制動距離が短くなるからといって、無謀なドライビングスタイルは避けなければなりません。あくまでも緊急事態におい

てより高い安全性を確保するためのものなのです。

コーナリング時のブレーキングには特に注意してください。コーナリング時にブレーキをかけると、モーターサイクルの重量と慣性が勝り、BMW Motorrad Integral ABS といえども、その影響を補正することはできません。

エンジンマネジメントシステム (BMW Motorrad ASC 装備)

ーオートマチックスタビリティコントロール^{OE} 装備

ASC はどのように作動するのでしょうか？

BMW Motorrad ASC は、フロントおよびリヤホイールのホイールスピードを比較します。スピードの差からスリップを、さらにリヤホイールの安定性レベルを算出します。スリップ限界値

を超えると、エンジンマネジメントシステムがエンジントルクを調整します。

BMW Motorrad ASC はどのように設計されているのでしょうか？

BMW Motorrad ASC は、公道走行時にライダーをサポートするアシストシステムとして設計されています。特に物理的限界領域において、ライダーが ASC の制御性能に与える影響は多大なものです (コーナーでの荷重移動、積載状態など)。

このシステムは、オフロードレースやレーストラックの過酷な状況で生じるような、特別な要求を満たすために設計されたものではありません。このような場合は、BMW Motorrad ASC を解除できます。

 ASC を装備していても、物理的法則を無効にすることはできません。どのような走

行スタイルを適切とするか、ライダーの責任が問われます。

安全のためのサポートを、リスクキーな走行により制限しないでください。◀

特殊な状況

車体の傾きが増すにつれ、物理的法則に従って、加速はますます強く制限されます。このため、非常にタイトなコーナーでは加速が遅れる場合があります。

リヤホイールの回転（空転）やスリップを検知するため、特にフロントおよびリヤホイールの回転数が比較されます。一定の時間以上、検知される値が正常でない場合、安全のために ASC 機能は OFF になり、ASC の故障が表示されます。エラーメッセージの表示には、自己診断が終了していることが前提となります。

次のような、通常とは異なる運転 / 走行状態では、BMW Motorrad

ASC が自動的に OFF になる場合があります。

特殊な運転 / 走行状態：

- ASC が作動していない状態で長時間の後輪走行（ウィーリー）。
- フロントブレーキをかけた際、その場で後輪が回転（空転）（バーンアウト）。
- センタースタンドまたは補助スタンドで車両を立てた状態で、ニュートラルでまたはギヤを入れて暖機運転する。

イグニッションを OFF にしてから ON にして 5 km/h 以上で走行すると、ASC は再び作動します。

極端な加速によってフロントホイールの接地が失われた場合には、フロントホイールが路面を再び確実に捉えるようになるまで、ASC がエンジントルクを抑えます。

このような場合、BMW Motorrad は、スロットルグリップを少し戻して車両をできるだけ早く安定した運転 / 走行状態に戻すよう、お勧めします。

滑りやすい路面で、クラッチを切らずに突然スロットルグリップを完全に戻すことは決してしないでください。エンジブレーキトルクによりリヤホイールがロックされ、不安定な運転 / 走行状態に陥る場合があります。このような状態では、BMW Motorrad ASC による補正を行うことはできません。

タイヤ空気圧コントロール (RDC)

- タイヤ空気圧コントロール (RDC) ^{OE} 装備

機能

タイヤにはセンサーが各ひとつずつ装備されており、このセンサーがタイヤ内部のエア温度と充填圧を測定してコントロールユニットに伝送します。

センサーには遠心ガバナーが装備されており、これにより車速が約 30 km/h を越えると測定値の伝送が行われ始めます。タイヤ充填圧が最初に受信される前は、ディスプレイにはタイヤごとに -- が表示されます。車両停止後、センサーはさらに約 15 分間、測定値を伝送します。

タイヤ充填圧の領域

RDC コントロールユニットは、車両に適合した 3 つのタイヤ充填圧領域を識別します：

- 充填圧が許容範囲内にある。
- 充填圧が許容限界域にある。
- 充填圧が許容範囲外にある。

温度補正

タイヤ充填圧は温度に依存しています。すなわち、タイヤ温度が上昇するとタイヤ充填圧は増加し、タイヤ温度が下がると減少します。タイヤ温度は外気温度、走行スタイルおよび走行時間に応じて変化します。

タイヤ充填圧は、温度補正が行われてマルチファンクションディスプレイに表示されます。このタイヤ温度は 20 °C が想定されています。ガソリンスタンドの充填圧テスターでは温度補正は行われず、測定されたタイヤ充填圧はタイヤ温度に左右されます。そのため、ここで表示される値は通常、マルチファンクションディスプレイに表示された値と異なります。

充填圧の調整

マルチファンクションディスプレイの RDC 値と Rider's Manual の裏表紙に記載されている値を比較してください。これらの値の偏差は、ガソリンスタンドの空気圧テスターで補正する必要があります。

例：Rider's Manual にはタイヤ充填圧は 2.5 bar と記載されており、マルチファンクションディスプレイには 2.3 bar と表示されています。ガソリンスタンドのテスターでは 2.4 bar と表示されています。正しいタイヤ充填圧にするため、この値を 0.2 bar 分、2.6 bar まで上げる必要があります。

電子調整式サスペンション (電子調整式サスペンション) (ESA II)

– Electronic Suspension Adjustment (電子調整式サスペンション) (ESA II) ^{OE} 装備

サスペンション調整

モーターサイクルの積載荷重に合わせて、まず停車状態で適切な積載方法を選択する必要があります。選択したショックアブソーバーに対応して、両方のサスペンションストラットでダンピングが設定され、さらにリヤサスペンションストラットでスプリングベースとスプリングレートが設定されます。選択したショックアブソーバーが変更されると、両方のサスペンションストラットのダンピングおよびリヤサスペンションストラットのスプリングレートが適合するように調整されます。これにより、走行中もあらゆる走行状態に合わせ

てサスペンションを非常に正確に調整できるようになります。

- スプリングベース、ダンピング、ばね定数を組み合わせることにより、常に適切なシャシジオメトリーが可能になります。
- 静的なノーマル状態は走行状態でもほとんど変わりません。
- モーターサイクルの走行特性が一定に保たれるように、様々な走行および積載条件が補償されます。

従来のコイルスプリングと、横方向への膨張を移動可能なスリーブによって電子油圧式に制限することのできるプラスチックエレメント (エラストグラン) を組み合わせることによって、ばね定数を電氣的に変化させることが可能になります。プラスチックエレメントがスリーブに囲まれる範囲が広がるほど、その膨張が抑えられ、ばね定数が高くな

ります。ばね定数はスリーブがプラスチックエレメントを完全に包み、スチールスプリングの上に乗っているときに最大になります。スリーブによるプラスチックエレメントの膨張の制限が少なくなるほど、対応して、ばね定数は小さくなります。

アクセサリ

一般的な情報	96
電源ソケット	96
ケース	97
タイヤリペアキット	99

一般的な情報



BMW Motorrad では、すべての他社製品について、BMW モーターサイクルにおいて安全性の問題なく使用できるかどうか判定することはできません。国別仕様により公的な許可が与えられている場合にも、この保証は付与されません。点検にあたっては、常にBMW モーターサイクルにおけるすべての使用条件を考慮に入れるということとはできず、そのため部分的に十分でないところがあります。必ず、BMW が BMW モーターサイクル用に承認している部品およびアクセサリ製品のみご利用ください。◀

部品およびアクセサリは、BMW により、その安全性、機能、適性に関する試験が実施されています。これらの製品については、BMW が製造責任を保証いたします。承認されていない部品やアクセサリにつきまして

は、いかなる種類であれ、BMW は責任を負いません。変更を加える場合にはすべて、必ず法規制に従ってください。各国の道路交通法を遵守してください。フレーム制御システムにおけるタイヤサイズの重要性についての注意事項を確認し、遵守してください (▶▶ 110)。

BMW Motorrad ディーラーは、皆様がBMW 純正部品、アクセサリ、その他の製品を選択されるにあたり、専門的なアドバイスをいたします。

BMW Motorrad のすべてのアクセサリをインターネットでご紹介しています：
"www.bmw-motorrad.com".

電源ソケット

電源ソケットの使用上の注意：

自動停止

- 以下の状況では、電源ソケットは自動的に OFF になります：
- 車両の始動性能を保持するには、バッテリー電圧が不足している場合
 - テクニカルデータで規定されている最大定格負荷を超過している場合
 - 始動動作中。

追加装備機器の使用

追加装備機器は、イグニッションが ON の場合にのみ作動できます。その後でイグニッションを OFF にしても、追加装備機器は作動状態のままになります。イグニッションを OFF にしてから約 15 分後に、車両電装システムの負荷解除のため、電源ソケットが OFF になります。

ケーブルの取り回し

電源ソケットから追加装備機器間のケーブルは、以下のことに注意して、取り回してください。

- ライダーの妨げにならないこと
- ハンドルバーの動きやハンドリング性能を制限しないこと
- 挟み込まれないようにすること。

ケース

- ケース^{OA} 装備

ケースを開く

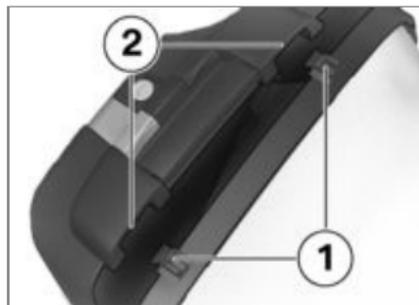


- ロックシリンダーをポジション OPEN に回します。

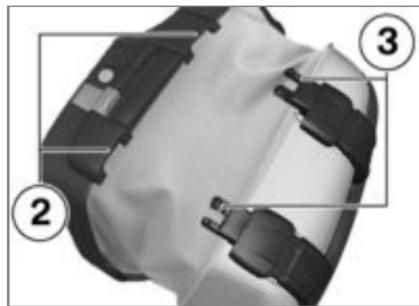


- ロック解除レバー（グレー）**1** (OPEN) を引き上げます。
 » ロックストラップ **2** が外れます。
- ロック解除レバー（グレー）(OPEN) を再度引き上げながら、ケースリッド **3** リテーナから引いて外します。

ケースを閉じる



- ケースリッドのロック **1** をロック **2** に押し込み、しっかりとかみ合わせます。



- 同様に、ロックストラップのロック **3** をロック **2** に押し込

み、しっかりとかみ合わせます。

ケースの容量を調整する

- ケースリッドを閉じます。



- ロックストラップ **1** を外側へ押してから、引き上げます。
- » 最大容量に設定されています。

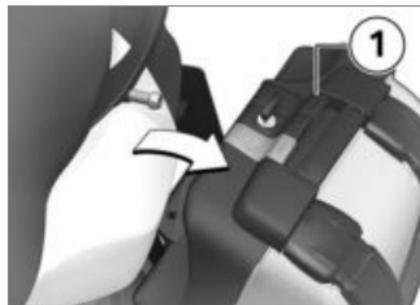


- ロックストラップを締めます。
- ケースリッドをケースボディに押し付けます。
- » ケース容量は中身に合わせて調整されます。

ケースを取り外す



- ロックシリンダーをポジション RELEASE に回します。

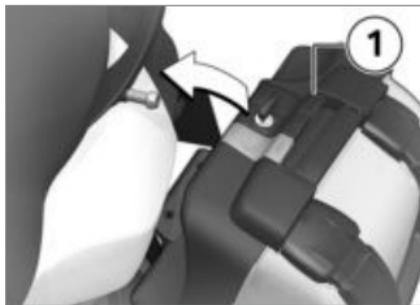


- ロック解除レバー **1**(黒) (RELEASE) を引き上げながら、ケースを外側へ引きます。

- 続いてケースを下側のマウントから持ち上げて外します。

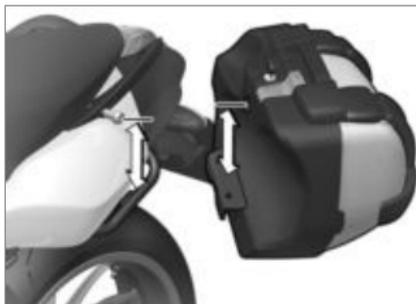
ケースを取り付ける

- ケースを下側のマウントに掛けます。

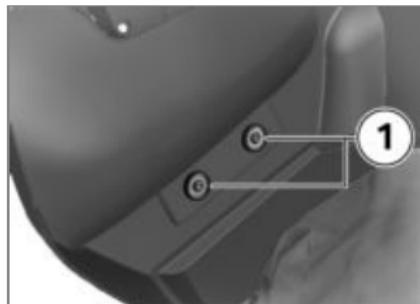


- ロック解除レバー（黒）**1**(RELEASE) を引き上げながら、ケースを上側のマウント部に押し込みます。
- ロック解除レバー (RELEASE) (黒) を押し下げ、しっかりとかみ合わせます。
- キーをケースロックに差し込み、進行方向へ回して抜き取ります。

確実な固定



ケースがぐらついたり、取り付けにくい場合には、上下のマウント間の間隔を調整する必要があります。



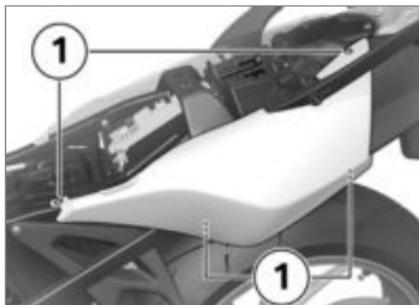
それには、ケース内部にあるボルト **1** を使用してください。

タイヤリペアキット

— タイヤリペアキット^{OA} 装備

タイヤリペアキットを収納する

- シートを取り外す(▶▶ 62)。

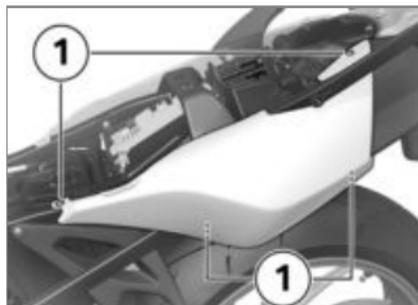


- ボルト **1** を外し、サイドフェアリングを取り外す。

▶ サイドフェアリングを傷つけないようにするため、フェアリングをシートの上に置いてください。◀



- タイヤリペアキットを、ラバーストラップを使用して図示されているように固定する。



- サイドフェアリングを組み込み、ボルト **1** を取り付ける。
- シートを取り付ける(▶▶▶ 62)。

メンテナンス

一般的な情報	102
ツールキット	102
エンジンオイル	103
ブレーキシステム	105
クラッチ	109
リムとタイヤ	109
ホイール	110
フロントホイールスタンド	118
リヤホイールスタンド	120
バルブ	121
ジャンプスタート	127
バッテリー	128

一般的な情報

「メンテナンス」の章では、簡単に実施できる消耗部品の点検および交換作業について説明します。

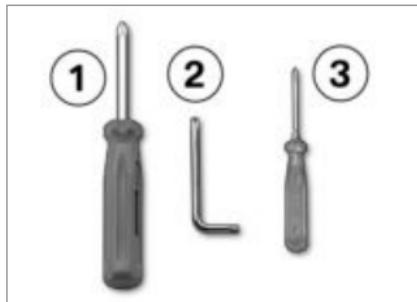
取り付ける際に専用の締め付けトルクがある場合には、規定締め付けトルクも記載されています。必要なすべての締め付けトルクを記した一覧表が「仕様（諸元）」の章にあります。

さらに詳しいメンテナンスおよび修理作業に関する情報は、ご使用の車両に対応するDVD版リペアマニュアルをご覧ください。リペアマニュアルはBMW Motorradディーラーで入手できます。

記述されている作業の実施にあたっては、スペシャルツールと確かな専門知識が必要です。疑問に思われることが生じた場合には、BMW Motorradディーラーにお問い合わせください。

ツールキット

標準スペシャルツールキット

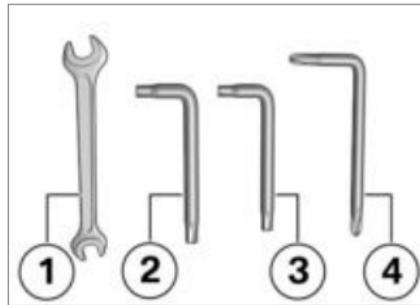


- 1 リバーシブルブレードドライバー、プラスおよびマイナスヘッドブレード付き
- バッテリーを取り外す (▶▶▶ 130)。
- 2 トルクスレンチ T25
- タイヤリペアキット OA 装備
- タイヤリペアキットを収納する (▶▶▶ 99)。
- バッテリー収納部カバーを取り外す (▶▶▶ 131)。

- 3 ドライバー（小）、プラスヘッドブレード付き
- フロントウインカーバルブを交換する (▶▶▶ 124)。
- リヤウインカーバルブを交換する (▶▶▶ 126)。

補助ツールキット

- 特別仕様モデルK 1300 S (HPパッケージ付き) OE 装備



- 1 オープンエンドレンチ
口径 8/10

- 2 トルクスレンチ T45
- フットレストを調整します。
- シフトレバーを調整します。
- 3 トルクスレンチ T30
- ブレーキペダルを調整します。
- 4 ドライバー (アンギュラー)、プラスヘッドブレード付き
- シフトレバーを調整します。

エンジンオイル

エンジンオイルレベルを点検する

 長時間停車させていた後は、エンジンオイルがオイルパンに溜まっている可能性があります。オイルレベルを読み取る前に、ポンプでオイルタンクに戻しておく必要があります。そのため、エンジンオイルは通常の作動温度でなければなりま

せん。エンジン冷間時や短時間走行した後にオイルレベルの点検を行うと、正確なレベルを測定できないため、間違ったオイル量でエンジンを作動する原因となります。

エンジンオイルレベルを正確に表示させるため、必ず長時間走行してからオイルレベルを点検してください。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、作動温度に達しているモーターサイクルをまっすぐに立てます。
- 第 II 世代センタースタンド OA 装備
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、作動温度に達しているモーターサイクルをメイン (センター) スタンドで立てます。◁
- 1 分間アイドリングします。
- イグニッションを OFF にします。



- オイルレベルを表示 **1** で読み取ります。



 エンジンオイル規定レベル

最低レベル (MIN) と最高レベル (MAX) のマーク間

オイルレベルが MIN マークを下回っている場合：

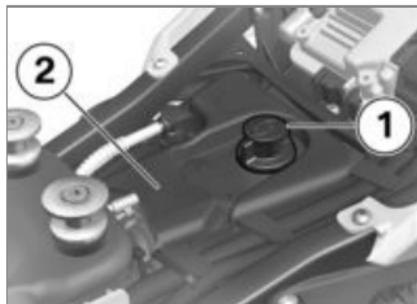
- エンジンオイルを補充する(▶▶ 104)。

オイルレベルが MAX マークを上回っている場合：

- BMW Motorrad ディーラーにオイルレベルの点検を依頼してください。

エンジンオイルを補充する

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。
- シートを取り外す(▶▶ 62)。
- 注入口周辺を清掃します。



- オイル注入口のプラグ **1** を外します。

 エンジンオイルは多すぎても少なすぎても、エンジンを損傷するおそれがあります。エンジンオイルレベルが正しいか確認してください。◀

- エンジンオイルを規定レベルまで補充します。

 エンジンオイル補充量

max 0.5 l (MIN と MAX マーク間の差)

- オイル交換時：ポジション **2** に記載されているオイル容量関連事項を順守してください。



 エンジンオイル容量

粘度等級


 エンジンオイル容量

3.5 l (フィルター交換時 (リザーバタンクに**記載なし**))

4 l (フィルター交換時 (拡大リザーバタンク、**記載あり**))

0.5 l (MIN と MAX 間の差)

- エンジンオイルレベルを点検する(▶▶▶ 103)。
- エンジンオイル注入口のキャップを取り付けます。
- シートを取り付ける(▶▶▶ 62)。

ブレーキシステム

ブレーキの作動を点検する

- ブレーキレバーを操作します。
- ▶ はっきりと抵抗が感じられる必要があります。
- ブレーキペダルを操作します。
- ▶ はっきりと抵抗が感じられる必要があります。

はっきりとした抵抗が感じられない場合：

 作業が正しく行われなかった場合、ブレーキシステムの動作の確実性が損なわれます。ブレーキシステムに関するすべての作業は、専門のメカニックにお任せください。◀

- BMW Motorrad ディーラーにブレーキシステムの点検を依頼してください。

フロントブレーキパッド厚を点検します

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。



- 左右ブレーキパッド厚を目視点検します。目視点検方向：ホイールとフロントホイールガイドの間を通して、ブレーキキャリパー **1** へ。



 フロントブレーキパッドの摩耗限度

min 1.0 mm (ライニングのみ (キャリアプレートなし)。)
摩耗インジケーター (溝) がはっきりと確認できなければなりません。)

摩耗インジケーターがはっきりと見えない場合：

 パッドの使用限度厚を下回ると、ブレーキ性能が低下し、場合によってはブレーキが損傷します。

ブレーキシステムの動作信頼性

を確実にするため、使用限度厚を下回らないようにしてください。◀

- BMW Motorrad ディーラーにブレーキパッドの交換を依頼してください。

リアブレーキパッド厚を点検します

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。



- ブレーキパッド厚を目視点検します。目視点検方向：右側か

らブレーキキャリパー **1** の内側。



 リアブレーキパッドの摩耗限度

min 1.0 mm (ライニングのみ (キャリアプレートなし)。)
インナーブレーキパッドの孔からブレーキディスクが見えないこと。)

ブレーキディスクが見える場合：

 パッドの使用限度厚を下回ると、ブレーキ性能が低

下し、場合によってはブレーキが損傷します。

ブレーキシステムの動作信頼性を確実にするため、使用限度厚を下回らないようにしてください。◀

- BMW Motorrad ディーラーにブレーキパッドの交換を依頼してください。

フロントブレーキフルードレベルを点検する

! ブレーキフルードリザーバタンクのフルードが不足している場合、ブレーキシステム内にエアが入り込むおそれがあります。これは、ブレーキ性能が著しく低下する原因となります。

ブレーキフルードレベルを定期的に点検します。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルをまっすぐに立てます。

– 第 II 世代センタースタンド^{OA} 装備

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルをメイン (センター) スタンドで立てます。◀

- ハンドルを直進位置にします。



- ブレーキフルードリザーバタンク **1** のブレーキフルードレベルを読み取ります。

▶ ブレーキパッドが徐々に摩耗してゆくことによって、リザーバタンクのブレーキ

フルードレベルは下がってきます。◀



 フロントブレーキフルードレベル

ブレーキフルード、DOT4

ブレーキフルードレベルが MIN マークを下回らないようにしてください。(ブレーキフルードリザーバタンクは水平、車両はまっすぐに立て、ハンドルは直進位置)

ブレーキフルードレベルが規定値を下回った場合：

- BMW Motorrad ディーラーにできるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

リヤブレーキフルードレベルを点検する

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルをまっすぐに立てます。
- 第 II 世代センタースタンド OA 装備
- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルをメイン (センター) スタンドで立てます。◀



! ブレーキフルードリザーバータンクのフルードが不足している場合、ブレーキシステム内にエアが入り込むおそれがあります。これは、ブレーキ性能が著しく低下する原因となります。

ブレーキフルードレベルを定期的に点検します。◀

- リヤブレーキフルードリザーバータンク **1** のブレーキフルードレベルを読み取ります。

▷ ブレーキパッドが徐々に摩耗してゆくことによって、リザーバータンクのブレーキ

フルードレベルは下がってきます。◀



リヤブレーキフルードレベル

ブレーキフルード、DOT4

ブレーキフルードレベルが MIN マークを下回らないようにしてください。(ブレーキフルードリザーバータンクが水平になるように、車両をまっすぐに立てます)

ブレーキフルードレベルが規定値を下回った場合：

- BMW Motorrad ディーラーにできるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

クラッチ

クラッチの機能を点検する

- クラッチレバーを操作します。
- » はっきりと抵抗が感じられる必要があります。

抵抗がはっきりと感じられない場合：

- BMW Motorrad ディーラーにクラッチシステムの点検を依頼してください。

クラッチフルードレベルを点検する

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをまっすぐに立てます。

– 第 II 世代センタースタンド^{OA} 装備

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン（センター）スタンドで立てます。◀

- ハンドルを直進位置にします。



- リザーバタンク 1 のクラッチフルードレベルを読み取ります。

▶ クラッチの摩耗により、クラッチフルードリザーバタンク内のフルードレベルが上昇しています。◀



クラッチフルードレベル
（目視点検）

クラッチフルードレベルが下がらないこと。

クラッチフルードレベルが下がる場合：

! 適切でないフルードを使用すると、クラッチシステムの損傷を招くことがあります。フルードの注入は行わないでください。◀

- BMW Motorrad ディーラーにできるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

リムとタイヤ

ホイールリムを点検する

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- ホイールリムに不良部分がないか目視点検します。

- ホイールリムが損傷した場合は、BMW Motorrad ディーラーに点検を依頼し、必要に応じて交換してください。

タイヤのトレッド溝の深さを点検する



トレッドが法定の最小残溝量に達していない場合でも、モーターサイクルの走行特性はすでに低下しているおそれがあります。

タイヤは、トレッドが最小残溝量に達する前に交換してください。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- タイヤのトレッド溝の深さを、メインのトレッド溝で、摩耗インジケーターを使用して測定します。

▶ 摩耗インジケーターはタイヤごとにメインのトレッド溝に設けられています。タイヤ

のトレッド溝がインジケーターレベルにまで達している場合は、タイヤが完全に摩耗していません。インジケーターの位置は、タイヤの縁に TI、TWI などのアルファベットや矢印で示されています。◀

トレッドが最小残溝量に達している場合：

- 当該タイヤを交換します。

ホイール

承認タイヤ

すべてのタイヤサイズに関して、特定のタイヤ製品が BMW Motorrad により検査され、走行安全性に優れていると位置付けされています。その他のタイヤに関しては、BMW Motorrad ではその適合性を評価できず、走行安全性を保証できません。

BMW Motorrad
は、BMW Motorrad に

よる検査済タイヤのみの使用を推奨します。

詳細については、BMW Motorrad
ディーラーにお問い合わせください。

ホイールサイズがシャシー制御システムに与える影響

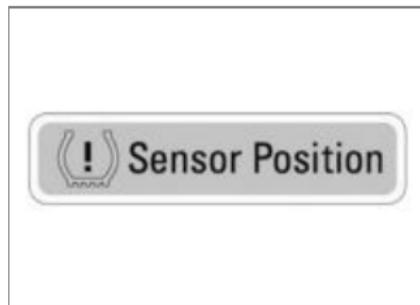
ホイールサイズは、シャシー制御システム ABS および ASC において、重要な役割を果たします。特にホイールの直径および幅は、必要となるすべての計算のベースとしてコントロールユニットにメモリーされています。標準装備ホイール以外のホイールへの変更によりこのサイズが変わると、これらのシステムの制御性に重大な影響が及ぶおそれがあります。

ホイール回転数検知に必要なセンサーホイールも、装備されている制御システムに適合させる必要があります。交換はできません。ご使用のモーターサイクルに他のホイールを装着なさりたい場合に

は、事前にBMW Motorradディーラーにご相談ください。コントロールユニットにメモリーされているデータを、新しいホイールサイズに適應させることができる場合もあります。

RDC ラベル

ータイヤ空気圧コントロール (RDC) ^{OE} 装備



! RDC センサーは、不適切なタイヤの変更により損傷するおそれがあります。

BMW Motorrad ディーラーまたは専門の整備工場に、ホイール

にRDC センサーが装着されていることをお伝えください。◀

RDC 装備のモーターサイクルには、ホイールリム上のRDC センサー位置に当該ラベルがあります。タイヤ交換の際には、RDC センサーを損傷しないように注意してください。BMW Motorrad ディーラーまたはワークショップに、RDC センサーが取り付けられていることを知らせてください。

フロントホイールを取り外す

● 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。



- 左右のボルト **1** を取り外します。
- フロントホイールカバーを前方へ引いて外します。



- センサーケーブルのクランプ **1** (2 個) をブレーキラインから取り外します。

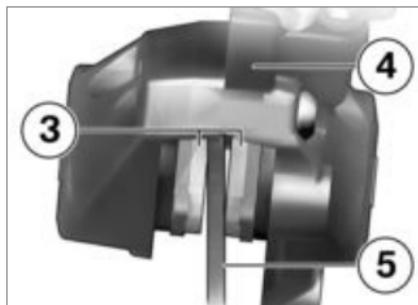
- リム周辺をマスキングテープなどで保護し、ブレーキキャリパーを取り外す際に、傷が付かないようにします。



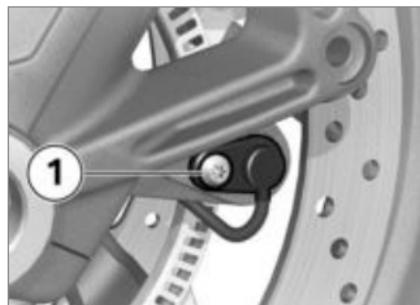
! 取り外した状態では、ブレーキパッドは押し圧され、再度取り付ける際に、ブレーキディスクをブレーキパッド間に収めることが困難になる場合があります。

ブレーキキャリパーを取り外した状態では、ブレーキレバーを操作しないでください。◀

- 左右ブレーキキャリパーの固定ボルト **2** を取り外します。

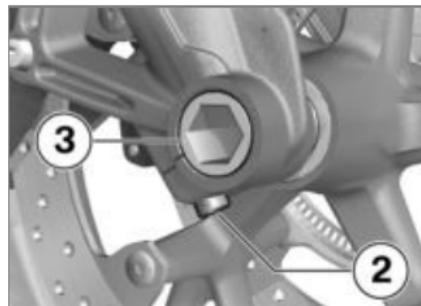


- ブレーキパッド **3** を、ブレーキキャリパー **4** を回転させて、ブレーキディスク **5** に少し押しつけます。
- ブレーキキャリパーを後方外側へ慎重に引いて、ブレーキディスクから取り外します。



- ボルト **1** を外し、ABS センサーをボアから取り外します。
 - モーターサイクルを補助スタンドで立てます。BMW Motorrad は、BMW Motorrad リヤホイールスタンドの使用をお勧めします。
 - リヤホイールスタンドを取り付ける(▶▶ 120)。
- 第 II 世代センタースタンド OA 装備
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン (センター) スタンドで立てます。◀

- フロントホイールが自由に回転できるようになるまで、モーターサイクル前部を持ち上げます。モーターサイクルを持ち上げる場合、BMW Motorrad は、BMW Motorrad フロントホイールスタンドの使用をお勧めします。
- フロントホイールスタンドを取り付ける(▶▶ 118)。



! 左クランプリングはねじ込みブッシュをラジアルシャフトシールリングに固定する。ねじ込みブッシュの調整が正しくないと、センサーリングとホイールスピードセンサー間

の間隔が狂い、その結果 ABS 機能不良やホイールスピードセンサーの損傷につながります。確実にねじ込みブッシュを正しく調整するために、左側クランプリングを緩めたり、取り外したりしないでください。◀

- 右アクスルクランプボルト **2** を外します。
- ホイールを保持しながら、アクスルシャフト **3** を取り外します。
- フロントホイールを前へ転がして取り外します。

フロントホイールを取り付ける

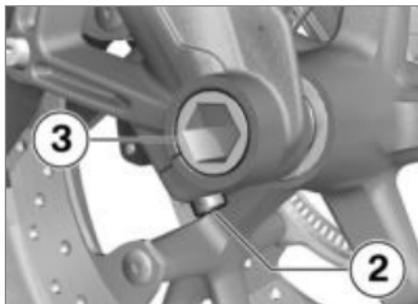
! 標準ホイールとは異なるホイールを装着すると、ABS およびASC の制御動作において、機能障害が発生するおそれがあります。この章のはじめにある、ホイールサイズがフレーム制御システムABS およびASC に与える影

響についての注意事項を確認し、遵守してください。◀

! ボルト締付け部の締付けトルクが不適切な場合、締付けが緩んだり、ボルト締付け部が損傷するおそれがあります。締付けトルクの点検は、必ずBMW Motorrad ディーラーに依頼してください。◀

! フロントホイールは必ず回転方向に取り付けてください。タイヤまたはホイールリム上にある回転方向を示す矢印に注意してください。◀

- フロントホイールをフロントホイールガイドへ転がし入れませす。



- フロントホイールを持ち上げ、アクスルシャフト **3** を締め付けトルクで締め付けて取り付けます。

 ブッシュ内アクスルシャフト

50 Nm

- 右アクスルランプボルト **2** を規定のトルクで締め付けます。

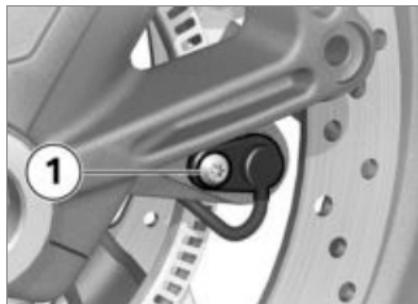
 ホイールキャリアのクランプボルト

19 Nm

- フロントホイールスタンドを取り外します。

— 第II世代センタースタンド OA 非装備

- リヤホイールスタンドを取り外します。◀



- ABS センサーをボアに組み込み、ボルト **1** を取り付けます。
- ブレーキキャリパーをブレーキディスクに取り付けます。



- 左右の固定ボルト **2** を規定トルクで締め付け、取り付けます。

 フロントブレーキキャリア
パとホイールキャリア

30 Nm



! ホイール回転数センサーケーブルは、ブレーキディスクが接触すると、擦り切れるおそれがあります。

センサーケーブルが正しく取り回されているか確認してください。◀

- ブレーキラインにセンサーケーブルのクランプ **1** (2 個) を取り付けます。
- ホイールリムに貼られているマスキングテープなどはがします。
- 抵抗が感じられるようになるまで、ブレーキレバーを数回強く操作します。

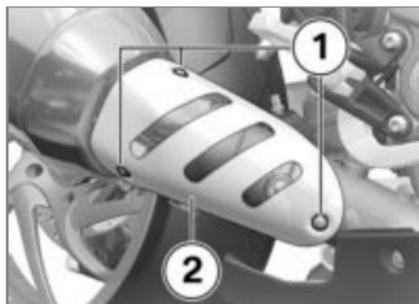


- フロントホイールカバーを組み込み、左右のボルト **1** を取り付けます。

リヤホイールを取り外す

- モーターサイクルを補助スタンドで立てます。BMW Motorrad は、BMW Motorrad リヤホイールスタンドの使用をお勧めします。
- リヤホイールスタンドを取り付ける(▶▶ 120)。
- 第 II 世代センタースタンド ^{OA} 装備
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイ

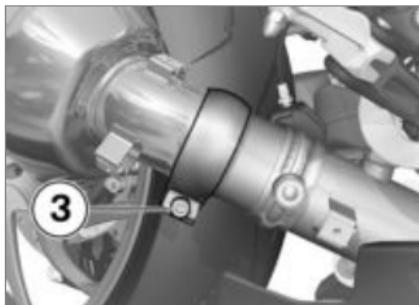
ン (センター) スタンドで立てます。◀



! 熱くなっているエキゾーストシステムで火傷をするおそれがあります。

エキゾーストシステムに触れないでください。必要に応じて、エキゾーストシステムが冷えてから、作業を実行してください。◀

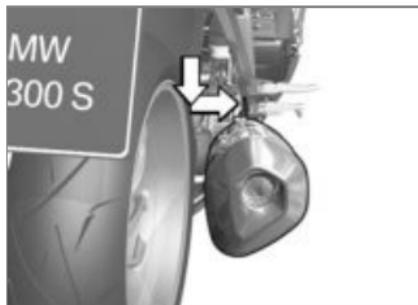
- マフラーカバー **2** のボルト **1** (3 本) を取り外します。
- カバーを取り外します。



- クランプのボルト **3** をクランプがちょうど回るぐらいに緩めます。
- クランプのシールグリースは取り除かないでください。



- マフラーを保持しながら、パッセンジャー用フットレストのボルト **4** を取り外します。



- マフラーを少し下へ回してから、外側へ回します。

- ギヤを 1 速に入れます。



- リヤホイールのボルト **1** (5 本) を取り外します。その際、ホイールを保持します。
- BMW Motorrad リヤホイールスタンドを使用する場合：ロックワッシャーを取り外します。
- リヤホイールを地面に下ろし、後方へ転がして取り外します。
- BMW Motorrad リヤホイールスタンドを使用する場合：ロックワッシャーを再度取り付けます。

リヤホイールを取り付ける

! 標準ホイールとは異なるホイールを装着すると、ABS およびASC の制御動作において、機能障害が発生するおそれがあります。

この章のはじめにある、ホイールサイズがフレーム制御システムABS およびASC に与える影響についての注意事項を確認し、遵守してください。◀

! ボルト締付け部の締付けトルクが不適切な場合、締付けが緩んだり、ボルト締付け部が損傷するおそれがあります。締付けトルクの点検は、必ずBMW Motorrad ディーラーに依頼してください。◀

- BMW Motorrad リヤホイールスタンドを使用する場合：ロックワッシャーを取り外します。
- リヤホイールをリヤホイールサポートの方に転がして取り付けます。

- BMW Motorrad リヤホイールスタンドを使用する場合：ロックワッシャーを再度取り付けます。



- ボルト **1** (5 本) を取り付け、対角の順に規定トルクで締め付けます。



リヤホイールとホイールフランジ

締付け順序: 対角の順に締め付けます

60 Nm

- マフラーを回し、元の位置に戻します。

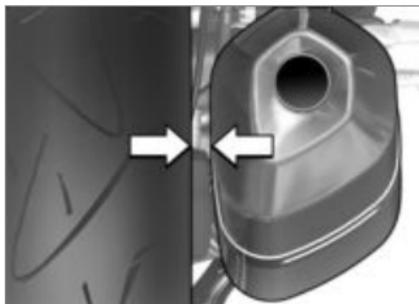


- パッセンジャー用フットレストのボルト **4** を締付けトルクで取り付けます。



マフラーとパッセンジャー用フットレスト

22 Nm



- マフラーを、規定されている間隔が守られるように調整します。



マフラーとタイヤの間隔

min 20 mm

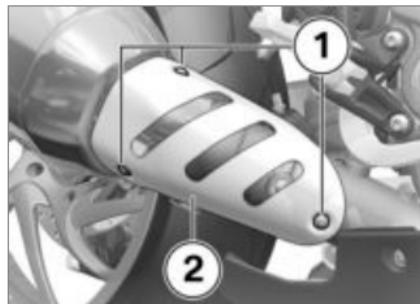


- クランプを図のように調整します。
- バンドクランプのボルト **3** を締付けトルクで締め付けます。



エルボーにバンドクランプの付いたマフラー

35 Nm



- マフラーカバー **2** を組み込み、ボルト **1** (3本) を取り付けます。

— 第 II 世代センタースタンド OA 非装備

- リヤホイールスタンドを取り外します。◁

フロントホイールスタンド フロントホイールスタンドを 取り付ける



BMW Motorrad フロントホイールスタンドは、メイン(センター)スタンドや他の補助スタンドを使用しないでモー

ターサイクルを保持できるようには設計されていません。モーターサイクルをフロントホイールスタンドとリヤホイールのみで立てると、転倒するおそれがあります。

モーターサイクル

は、BMW Motorrad フロントホイールスタンドで持ち上げる前に、メイン（センター）スタンドまたは補助スタンドで立ててください。◀

- ツール番号 (83 30 0 402 241) のベーススタンドを、フロントホイールサポート (83 30 0 402 243) と共に使用します。
- モーターサイクルを補助スタンドで立てます。BMW Motorrad は、BMW Motorrad リヤホイールスタンドの使用をお勧めします。
- リヤホイールスタンドを取り付ける(▶▶ 120)。

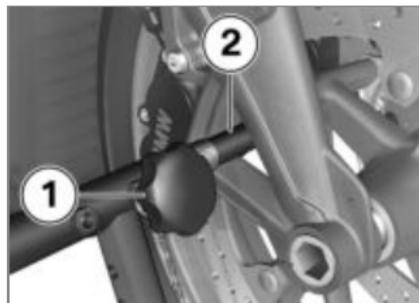
– 第 II 世代センタースタンド^{OA} 装備

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルをメイン（センター）スタンドで立てます。◀



- ボルト固定部 **1** をゆるめません。
- 両方の取り付けピン **2** を外側へ押し、フロントサスペンションが間に収まるようにします。
- フロントホイールスタンドを、固定ピン **3** を使用してご希望の高さに調整します。
- フロントホイールスタンドをフロントホイールのセンターに

合わせ、フロントアクスルに押し込みます。



! Integral ABS のセンサーリング BMW Motorrad が損傷するおそれがあります。左側の取り付けピンは、センサーリングに触れない程度に、内側へ押ししてください。◀

- 両方の取り付けピン **2** をブレーキキャリパー固定部の三角部分に通して、フロントホイールがまだ回転する程度まで内側へ押しします。
- 調整ボルト **1** を締め付けます。



! モーターサイクルをメイン（センター）スタンドで立てた場合：モーターサイクル前部を持ち上げすぎると、メイン（センター）スタンドが地面から浮き上がり、モーターサイクルが横転する可能性があります。持ち上げる際には、メイン（センター）スタンドが常に接地しているように注意してください。◀

- フロントホイールスタンドを左右均等に押し下げ、モーターサイクルを持ち上げます。

リヤホイールスタンド

リヤホイールスタンドを取り付ける

- ツール番号 (83 30 0 402 245) のベーススタンドを、リアアクスルアダプター (83 30 0 402 250) と共に使用します。
- 特別仕様モデルK 1300 S (HP パッケージ付き) OE 装備
- 同梱されている補助スタンドの使用については、以下の説明をご覧ください。◀



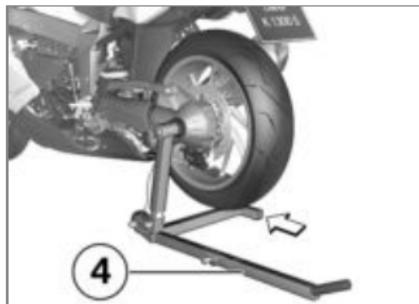
- リヤホイールスタンドを、ボルト **1** を使用して希望の高さに調整します。
- ロック解除用ボタン **3** を押して、ロックワッシャー **2** を外します。
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをサイドスタンドで立てます。



- リヤホイールスタンドを左側からリヤアクスルに押し込みます。
- ロックワッシャー **2** を右からはめ、ロック解除用つまみを押します。



- モーターサイクルをまっすぐに立てると共に、スタンドのグリップを後ろへ押して、スタンドの両方のローラーが地面に着くようにします。
- 続いてグリップを地面まで押しします。



- 倒れないようにするため、スタンドの短い方のサイドにレバー **4** を取り付けます。

バルブ

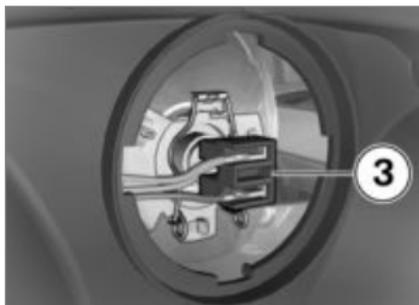
ロービーム / ハイビームライトバルブを交換する

▶ コネクターの向きは交換するバルブによって図と異なることがあります。◀

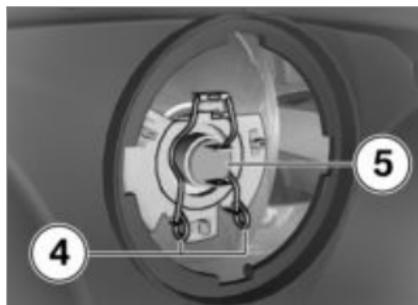
- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。
- イグニッションを OFF にします。



- ハイビームのカバー **1** およびロービームのカバー **2** を反時計回りに回して取り外します。



- コネクター **3** を外します。



- ホルダーからスプリングクランプ **4** を外して上へ上げます。
- バルブ **5** を取り外します。
- 故障しているバルブを交換します。



ロービームのバルブ

H7 / 12 V / 55 W

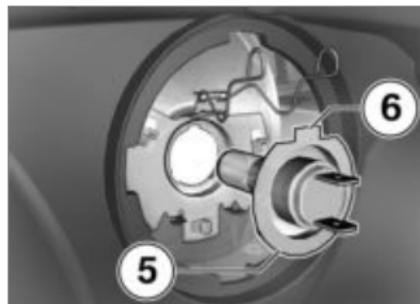


ハイビーム用バルブ

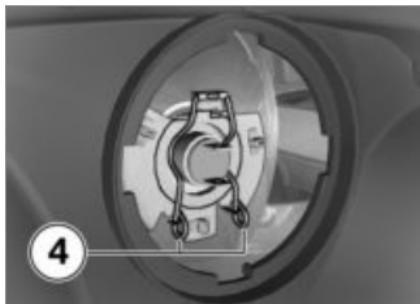
H7 / 12 V / 55 W

- 新品のバルブに汚れがつかないようにするため、バルブを取

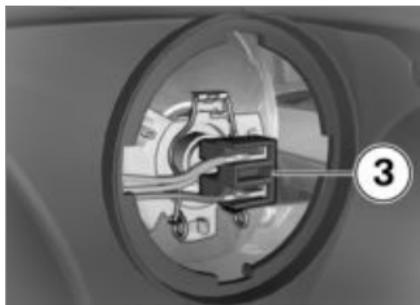
り扱う際はソケット部分にのみ触れるようにしてください。



- 白熱バルブ **5** をはめます。その際、ノーズ **6** の位置に注意してください。



- スプリングクランプ **4** をホルダーにはめます。



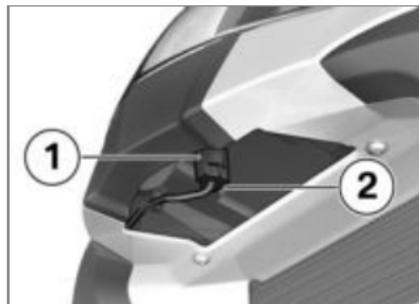
- コネクター **3** を閉じます。



- ハイビームのカバー **1** およびロービームのカバー **2** を時計回りにまわして取り付けます。

ポジション / パーキングライトバルブを交換する

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。
- イグニッションを OFF にします。

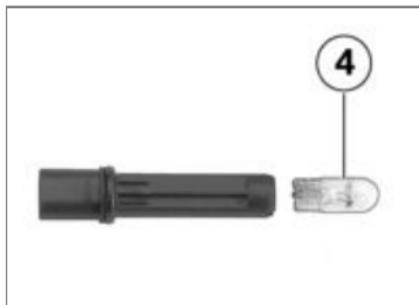


- ヘッドライト下のコネクター **1** をポジション **2** でロック解除して外します。



- バルブソケット **3** を下側から反時計回りに回して、ヘッド

ライトハウジングから取り外します。



- バルブ 4 をバルブソケットから取り外します。
- 故障しているバルブを交換します。

 ポジションライト / パーキングライトバルブ
 キングライトバルブ

W5W / 12 V / 5 W

- 新品のバルブのガラス面に汚れが付かないようにするため、乾いているきれいなウエスを使用して取り扱います。



- バルブ 4 をバルブソケットにセットします。



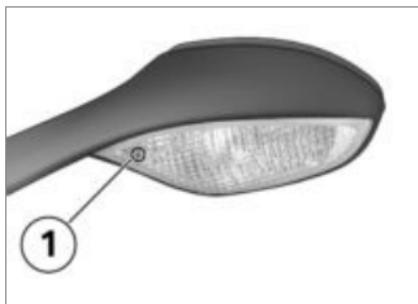
- バルブソケット 3 を下側から時計回りに回してヘッドライトハウジングに取り付けます。



- ヘッドライト下のコネクター 1 を接続します。

フロントウインカーバルブを交換する

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- イグニッションを OFF にします。

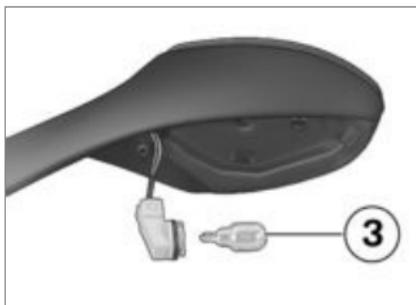


- ボルト **1** を取り外します。



- バルブハウジングのボルト固定側をミラーハウジングから引いて外します。

- バルブソケット **2** を反時計回りに回し、バルブハウジングから取り外します。

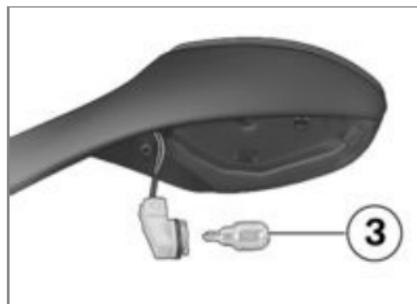


- バルブ **3** をバルブソケットから取り外します。
- 故障しているバルブを交換します

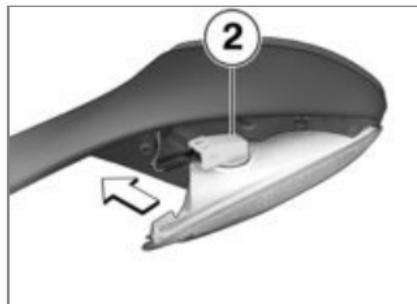
 フロントウインカー用バルブ

W16W / 12 V / 16 W

- 新品のバルブのガラス面に汚れが付かないようにするため、乾いているきれいなウエスを使用して取り扱います。

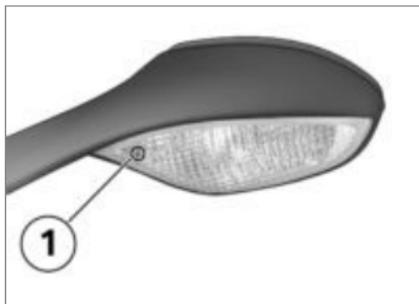


- バルブ **3** をバルブソケットにセットします。



- バルブソケット **2** を時計回りに回してバルブハウジングに取り付けます。

- バルブハウジングをミラーハウジングにセットします。



- ボルト **1** を取り付けます。

リヤウインカーバルブを交換する

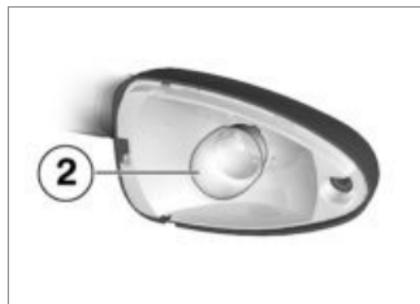
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- イグニッションを OFF にします。



- ボルト **1** を取り外します。



- バルブハウジングのボルト固定側を、ウインカーハウジングから引いて外します。



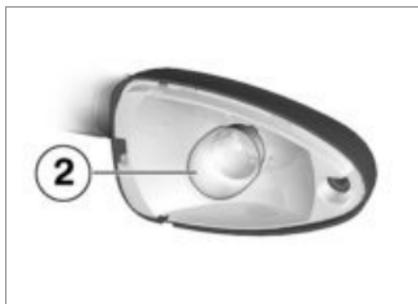
- バルブ **2** をソケットに押し込み、反時計回りに回して取り外します。
- 故障しているバルブを交換します。



リヤウインカー用バルブ

R10W / 12 V / 10 W

- 新品のバルブのガラス面に汚れが付かないようにするため、乾いているきれいなウエスを使用して取り扱います。



- バルブ **2** をソケットに押し込み、時計回りに回して取り付けます。



- バルブハウジングをウインカーハウジングにセットします。



- ボルト **1** を取り付けます。

ダイオードテールライト

テールライトの LED が下記の仕様に記載されているのよりもたくさん切れているときは、テールライトを交換する必要があります。このような場合には、

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。



テールライトの故障 LED の最大数

1 (ブレーキ / テールライト (赤))



テールライトの故障 LED の最大数

1 (ライセンスプレートライト (白))

ジャンプスタート



電源ソケット用電気配線の負荷容量は、他車のバッテリーなどと接続してモーターサイクルを始動させるようには設計されていません。大電流により、ケーブルから火災が発生したり、車両の電子機器が損傷するおそれがあります。モーターサイクルのジャンプスタートを行う際に、電源ソケットは使用しないでください。◀



ジャンパーコードのターミナルクランプと車両間の接続を誤ると、ショートが引き起こされるおそれがあります。必ず、完全絶縁タイプのクランプをつけたジャンパーコードを使用してください。◀



ジャンプスタートを行うと、車両の電子機器が損傷するおそれがあります。

供給側車両のバッテリー電圧が、12Vであることを確認してください。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。
- バッテリー収納部カバーを取り外す(▶▶ 131)。
- ジャンプスタートを行う際、バッテリーを車両電装システムから外さないでください。
- ジャンプスタートを行っている間、供給側バッテリー車両のエンジンを作動させておきます。
- ジャンパーコード(赤)の一方の先端を、まず放電したバッテリーのプラスターミナルに接続します。その後、もう一方の先端を供給側バッテリーの

プラスターミナルに接続します。

- ジャンパーコード(黒)の一方の先端を供給側バッテリーのマイナスターミナルに接続します。その後、もう一方の先端を放電したバッテリーのマイナスターミナルに接続します。
- 放電したバッテリー側の車両のエンジンを、通常の方法で始動させます。正常に始動しなかった場合は、スターターと供給側バッテリーの保護のため、数分経ってから再始動させてください。
- 接続を外す前に、両車両のエンジンをそのまま数分間作動させておいてください。
- ジャンパーコードは、まずマイナスターミナルから外し、その後プラスターミナルから外します。
- バッテリー収納部カバーを取り付ける(▶▶ 131)。

バッテリー

メンテナンスに関する注意

正しいメンテナンス、充電、保管は、バッテリーの寿命を延ばし、また、保証のための前提条件となります。

バッテリーの寿命を延ばすために、以下のことに注意してください。

- バッテリーの表面を、清潔で乾いた状態に保つ
- バッテリーを開けない
- バッテリーに水を補充しない
- バッテリーの充電を行う場合は、必ず、次ページ以降の注意事項に従うこと
- バッテリーを逆さまにしない。



バッテリーを接続したままにしておくと、電装品(時計など)がバッテリーを放電してしまいます。これは、バッテリーの過放電の原因になります。

す。この場合は、保証の対象になりません。

4週間以上運転しない場合には、バッテリーにトリクルチャージャーを接続してください。◀

▶ BMW Motorrad では、ご使用のモーターサイクルの電子機器専用トリクルチャージャーを開発しました。このチャージャーを使用すれば、車両を長期間使用しない場合でも、バッテリーを接続した状態で充電しておくことができます。詳しい情報につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問合せください。◀

接続しているバッテリーを充電する

⚠ バッテリーを接続したままバッテリーターミナルから直接充電すると、車両の電子機器に損傷が生じるおそれがあります。

バッテリーターミナルからバッ

テリーの充電を行う場合は、その前にバッテリーを車体から取り外してください。◀

⚠ イグニッションが ON の状態で、警告灯/インジケータおよびマルチファンクションディスプレイが消灯したままの場合は、バッテリーが完全に放電しています (バッテリー電圧 < 9 V)。完全に放電したバッテリーの充電を補助ソケットから行うと、車両の電子機器に損傷が生じるおそれがあります。

完全に放電したバッテリーは、必ず接続を外し、ターミナルから直接充電してください。◀

⚠ バッテリーの充電を電源ソケットから行う場合は、必ず適切なバッテリーチャージャーを使用してください。不適切なバッテリーチャージャーを使用すると、車両の電子機器が故障するおそれがあります。

適切な BMW チャージャーを使用します。対応する適切な

チャージャーは BMW Motorrad ディーラーで入手することができます。◀

● 接続しているバッテリーに電源ソケットから充電します。

▶ バッテリーがフル充電されると、車両の電子機器が検知します。この場合、電源ソケットの回路は遮断されます。◀

● チャージャーの取扱説明書に従ってください。

▶ 電源ソケットからバッテリーの充電ができない場合、使用されたチャージャーがモーターサイクルの電子機器に適合していない可能性があります。この場合は、接続を外したバッテリーのターミナルから、直接バッテリーを充電してください。◀

外したバッテリーを充電する

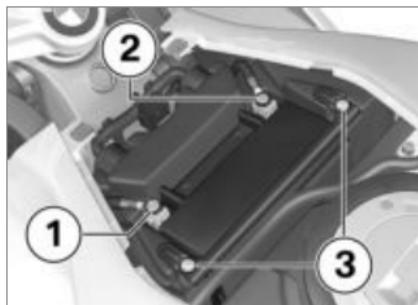
● 適切なチャージャーを使用し、バッテリーを充電します。

- チャージャーの取扱説明書に従ってください。
- 充電が終了したら、チャージャーのターミナルクランプをバッテリーターミナルから外します。

▶ 長期間車両を使用しない場合は、バッテリーを定期的に充電する必要があります。その場合には、そのバッテリーの取扱い規定に従ってください。また、再使用する前に必ずバッテリーをフル充電してください。◀

バッテリーを取り外す

- バッテリー収納部カバーを取り外す(▶▶ 131)。
- 盗難警報装置 (DWA) OE 装備
- 必要に応じて、盗難警報装置を OFF にします。◀
- イグニッションを OFF にします。

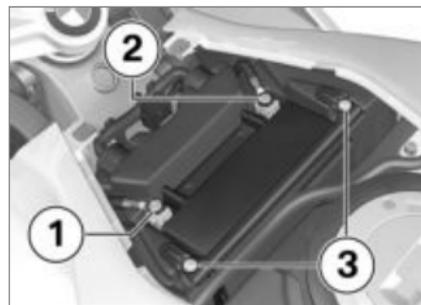


⚠ 取り外し順序を間違えると、ショートの高まり危険性が高まります。必ず作業手順を遵守してください。◀

- 先にマイナス配線 **1** を取り外します。
- その後、プラス配線 **2** を取り外します。
- ボルト **3** を外し、クランプを後方へ引きます。
- バッテリーを持ち上げて取り外します。スムーズに外せない場合は、前後に動かすと外しやすくなります。

バッテリーを取り付ける

- バッテリーを、プラスターミナルが進行方向で右側にくるように、バッテリー収納部にセットします。



- クランプをバッテリーの上にし、ボルト **3** を取り付けます。

⚠ 取り付け順序を間違えると、ショートの高まり危険性が高まります。必ず作業手順を遵守してください。◀

- まずバッテリープラス配線 **2** を取り付けます。

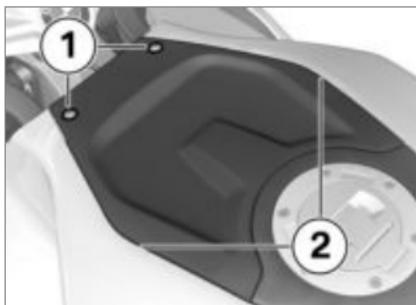
- その後、バッテリーマイナス配線 **1** を取り付けます。

▷ 車両からバッテリーが長時間外されていた場合、サービス表示の正常な機能を保証するため、現在の日付をメーターパネルに入力する必要があります。日付の調整に関しては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。◀

- バッテリー収納部カバーを取り付ける(▶ 131)。
- 時計を調整する(▶ 46)。

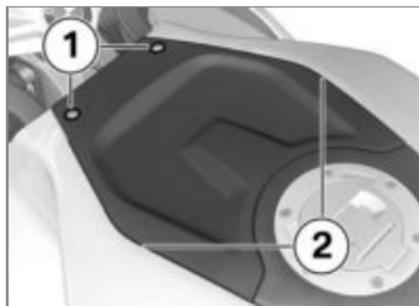
バッテリー収納部カバーを取り外す

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。



- ボルト **1** を取り外します。
- 固定部がポジション **2** になっていることを確認しながら、バッテリー収納部カバー前部を上方向へ取り外します。

バッテリー収納部カバーを取り付ける



- 固定部がポジション **2** になっていることを確認しながら、バッテリー収納部カバー後部を組み込んで閉じます。
- ボルト **1** を取り付けます。

お手入れ

ケア用品.....	134
洗車	134
損傷しやすい車両部品のお手 入れ	134
塗装のお手入れ.....	135
保護コーティング	136
長期保管.....	136
再使用	136

ケア用品

BMW Motorrad は、ご使用になる洗剤やケア用品をBMW Motorrad ディーラーでお求めになることをお勧めします。BMW CareProducts (BMW ケア製品) は、原料の点検確認および研究機関における製品のテストや試用点検が行われており、あなたの車両に使用されているマテリアルのお手入れと保護を最適に行います。

 不適切なクリーナー / ケア製品を使用すると、モーターサイクルの部品が損傷するおそれがあります。ニトロ希釈液、コールドクリーナー、ガソリン、アルコールを含んだクリーナーなどを清掃に使用しないでください。◀

洗車

BMW Motorrad は、ペイントに付着している昆虫や硬化した汚れなどを、洗車の前に BMW 専用クリーナーで柔らかくして洗い流しておくことをお勧めします。

しみができるのを避けるため、強い直射日光にさらされた直後や日向での洗車は行わないでください。

特に冬季の間は、洗車をより頻繁に行ってください。

路面に散布された塩を除去するため、走行後は、直ちにモーターサイクルを冷水で洗車します。

 モーターサイクルを水洗いしたり、水たまりの中を通過したり、雨の日に走行したりすると、ブレーキディスクとブレーキパッドが水に濡れた状態になり、ブレーキの効きが遅くなるおそれがあります。

ブレーキディスクおよびブレーキパッドが乾いた状態になるま

では、早めにブレーキングしてください。◀

 温水を使用すると塩の化学反応が強まります。

散布された塩を除去するには、必ず冷水を使用してください。◀

 高圧スチームクリーナーの高い水圧により、シールや油圧ブレーキシステム、電装システム、シートが損傷するおそれがあります。

スチームクリーナーや高圧ジェットは使用しないでください。◀

損傷しやすい車両部品のお手入れ

プラスチック

 プラスチック部品の清掃に不適切なクリーナーを使用すると、表面が損傷するおそれがあります。

プラスチック部品の清掃する際には、アルコールや溶剤、研磨剤

を含んだクリーナーは使用しないでください。

鉄粉取りスポンジまたは表面の堅いスポンジを使用した場合も、表面が損傷するおそれがあります。◀

フェアリング部

フェアリング部は、水と BMW プラスチックケア製品を使用して清掃してください。

プラスチック製ウインドシールドおよびカバーレンズ

汚れや昆虫を、柔らかいスポンジと水を大量に使用して除去してください。

▶ 硬化した汚れや昆虫などの付着は、湿らせた布などをかぶせて柔らかくしてください。◀

クローム

クロームメッキ部分は、特に塩の作用を受けた際には、大量の水と BMW シャンプーで慎重に清掃してください。さらに処置を施す場合には、クロームポリッシャーを使用してください。

ラジエター

ラジエターは、定期的に清掃してください。冷却が不十分のために起こるエンジンのオーバーヒートを避けるためです。園芸用ホースなどを使い、低い水圧で清掃してください。

▶ ラジエターのフィンは、簡単に曲がります。

ラジエターを清掃をする際には、フィンを曲げないように注意してください。◀

ラバー

ラバー部品の清掃には、水または BMW ラバークリーナーを使用してください。

▶ ラバーシールのお手入れにシリコンスプレーを使用すると、損傷するおそれがあります。シリコンスプレーやシリコンを含んだケア製品を使用しないでください。◀

塗装のお手入れ

定期的に洗車を行うことにより、塗装部分に長期間にわたって影響を与え、ペイントを損傷する原因となる物質を除去することができます。特に、大気汚染が激しい地域や、樹脂や花粉などが付着するような地域を走行した場合などに効果的です。

特に侵食性の高い物質は、直ちに除去してください。ペイントの損傷や変色を引き起こすおそれがあります。侵食性の高い物

質には、こぼれたフェューエルやオイル、グリース、ブレーキ液、鳥のふんなどがあります。この場合、BMW ポリッシャーやBMW ペイントクリーナーを使用してください。

ペイントの表面仕上げに付着している汚れは、洗車後に特に見えやすくなります。このような汚れは、クリーニング用ベンジンまたはアルコールを清潔な布や綿球などに含ませて、直ちに除去してください。BMW Motorrad は、タール系の汚れには、BMW タールリムーバーをご使用になることをお勧めします。その後、その箇所のペイントを保護コーティングなどで保護します。

保護コーティング

BMW Motorrad は、ペイント保護コーティングのため、BMW ワックスやカルナバワックス、合成ワックスを含むコーティング剤を使用することをお勧めします。

ペイントに保護コーティングを施すべきかどうか、最もよくわかるのは、水滴が水玉にならなくなった場合です。

長期保管

- 洗車します。
- バッテリーを取り外す(▶▶ 130)。
- ブレーキレバー、クラッチレバー、メイン (センター) スタンド、サイドスタンドのピボット部に、適切な潤滑剤を塗布します。
- 金属部品やクロームメッキ部品に中性のグリース (ワセリン) を塗布します。
- モーターサイクルを、両ホイールに負荷がかからない状態にして、乾燥した場所に保管します。

再使用

- 表面に塗布されている保護用コーティングを取り除きません。
- 洗車します。
- 充電済みのバッテリーを取り付けます。
- 始動前に、チェックリストを確認します。

テクニカルデータ

トラブルシューティング	138
ネジ止め部	139
エンジン	141
燃料	142
エンジンオイル	143
クラッチ	144
ギヤボックス	144
リヤホイールドライブ	145
サスペンション	145
ブレーキ	147
ホイールとタイヤ	147
電装システム	148
フレーム	150
寸法	150
重量	151

性能	151
----------	-----

ネジ止め部

フロントホイール	数値	有効
フロントブレーキキャリアとホイールキャリア		
M8 x 30 - 10.9	30 Nm	
ホイールキャリアのクランピングボルト		
M8 x 30	19 Nm	
ブッシュ内アクスルシャフト		
M24 x 1.5	50 Nm	
リヤホイール	数値	有効
マフラーとパッセンジャー用フットレスト		
M8 x 30	22 Nm	
エルボーにバンドクランプの付いたマフラー		
M8 x 60	35 Nm	
カバーとマフラー		
M5 x 12	3 Nm	

リヤホイール	数値	有効
リヤホイールとホイールフランジ		
M10 x 1.25 x 40	対角の順に締め付けます	
	60 Nm	
フットレスト	数値	有効
フットレストとホルダー		
M8 x 20	19 Nm	- HP フットレスト ^{OA} 装備
ステップパーツとペダル		
M6	10 Nm	- HP フットレスト ^{OA} 装備
ステップパーツとペダル		
M6	10 Nm	- HP フットレスト ^{OA} 装備

エンジン

エンジン型式	横置き、前傾角 55°、水冷直列 4 気筒 4 ストローク、DOHC およびロッカーアーム制御、1 気筒あたり 4 バルブ、ドライサンプ潤滑方式、電子制御燃料噴射、一体型 6 速カセットギヤ
排気量	1293 cm ³
シリンダーボア	80 mm
ピストンストローク	64.3 mm
圧縮比	13: 1
最高出力	129 kW、エンジン回転数: 9250 min ⁻¹
－ 低出力仕様 79 kW ^{OE} 装備	79 kW、エンジン回転数: 9000 min ⁻¹
最大トルク	140 Nm、エンジン回転数: 8250 min ⁻¹
－ 低出力仕様 79 kW ^{OE} 装備	118 Nm、エンジン回転数: 3750 min ⁻¹
最高回転数	max 11000 min ⁻¹
アイドル回転数	1050±50 min ⁻¹

燃料

推奨フューエルグレード	無鉛プレミアム (Superplus) (エタノール 10 %以下、E10) 98 ROZ/RON 91 AKI
フューエル容量	約 19 l
フューエルリザーブ容量	約 4 l

エンジンオイル

エンジンオイル容量	3.5 l、フィルター交換時（リザーバタンクに 記載なし ） 4 l、フィルター交換時（拡大リザーバタンク、 記載あり ） 0.5 l、MIN と MAX 間の差
粘度等級	
SAE 5W-40, API SL / JASO MA2	添加剤（例えばモリブデンベースのもの）は許可されていません。コーティングされているエンジン部品が損傷するためです。BMW Motorrad は BMW Motorrad オイルの使用を推奨しています。このオイルは BMW Motorrad ディーラーでお求めいただけます。

BMW recommends **ADVANTEC**
ORIGINAL BMW ENGINE OIL

クラッチ

クラッチの仕様	湿式多板クラッチ
---------	----------

ギヤボックス

ギヤボックスの仕様	常時噛み合い式 6 速トランスミッションをエンジンブロックに内蔵
ギヤ比	1.559 (92:59 丁)、一次減速比 2.294 (39: 17 丁)、1 速 1.789 (34: 19 丁)、2 速 1.458 (35: 24 丁)、3 速 1.240 (31:25 丁)、4 速 1.094 (35:32 丁)、5 速 0.971 (33:34 丁)、6 速 1.045 (23:22 丁)、ベベルギヤ

リヤホイールドライブ

リヤホイールドライブタイプ	ベベルギヤ付きシャフトドライブ
リヤサスペンション型式	BMW Motorrad パラレバー付きアルミキャストシングルスイングアーム
ベベルギヤ内の歯数 (ギヤ比)	2.82 (31:11)

サスペンション

フロントホイール

フロントサスペンション型式	ダブルリーディングアーム
フロントホイールサスペンションの構造	コイルプレッシャースプリング付きセンタースプリングストラットおよびシングルチューブガス封入式ショックアブソーバー。
- Electronic Suspension Adjustment (電子調整式サスペンション) (ESA II) ^{OE} 装備	コイルプレッシャースプリング付きセンタースプリングストラットおよび電動式で調整可能なリバウンドダンピング。
スプリングトラベル (フロント)	125 mm、ホイールで

リヤホイール

リヤサスペンション型式	BMW Motorrad パラレバー付きアルミキャストシングルスイングアーム
リヤサスペンション型式	レバーシステムを介して連結されているセンタースプリングストラット、コイルスプリングおよびシングルチューブガスショックアブソーバー付き。スプリングプリロードおよびリバウンドダンピングを無段階に調整可能
- Electronic Suspension Adjustment (電子調整式サスペンション) (ESA II) ^{OE} 装備	レバーシステムを介して連結されているセンタースプリングストラット、コイルスプリングおよびエラストマースプリングおよびシングルチューブガスショックアブソーバー付き。電子制御式ショックアブソーバーおよびスプリングプリロード / スプリングレート
スプリングトラベル (リヤ)	135 mm、ホイールで

ブレーキ

フロントブレーキ型式	4ピストン固定キャリパーを搭載した油圧式ダブルディスクブレーキ。ブレーキディスクはフローティングマウント。
フロントブレーキパッドの素材	焼結合金
リアブレーキ型式	2ピストンフローティングキャリパーを装備した油圧式ディスクブレーキ。ブレーキディスクは固定式。
リアブレーキパッドの素材	有機素材

ホイールとタイヤ

承認タイヤ	BMW Motorrad デイラーまたは www.bmw-motorrad.com に最新の承認タイヤ一覧がございます。
-------	--

フロントホイール

フロントホイールの仕様	アルミキャスト、MT H2
フロントホイールリムサイズ	3.50" x 17"
タイヤサイズ (フロント)	120 / 70 ZR 17
フロントホイールのアンバランスの許容値	max 5 g

リヤホイール

リヤホイールの仕様	アルミキャスト、MT H2
リヤホイールリムサイズ	6.0" x 17"
タイヤサイズ (リヤ)	190 / 55 ZR 17
リヤホイールのアンバランスの許容値	max 45 g

タイヤ充填圧

タイヤ充填圧 (フロント)	2.5 bar、タイヤ冷間時
タイヤ充填圧 (リヤ)	2.9 bar、タイヤ冷間時

電装システム

電源ソケットの定格電気負荷	max 5 A
ヒューズ	すべての電気回路が電子制御により保護されていますので、差し込み式ヒューズは必要ありません。電子ヒューズにより電気回路が遮断された場合、故障の修理後にイグニッションを ON にすると、電気回路は再び作動状態になります。

バッテリー

バッテリー型式	AGM (Absorbent Glass Mat) バッテリー
バッテリー電圧	12 V
バッテリー容量	12 Ah

スパークプラグ

スパークプラグのメーカーおよび名称	NGK KR9CI
スパークプラグの電極ギャップ	0.8 mm、新品時の状態

バルブ

ハイビーム用バルブ	H7 / 12 V / 55 W
ロービームのバルブ	H7 / 12 V / 55 W
ポジションライト / パーキングライトバルブ	W5W / 12 V / 5 W
テールライト / ブレーキライトバルブ	LED / 12 V
テールライトの故障 LED の最大数	1、ブレーキ / テールライト (赤) 1、ライセンスプレートライト (白)
フロントウインカー用バルブ	W16W / 12 V / 16 W
リヤウインカー用バルブ	R10W / 12 V / 10 W

フレーム

フレーム型式	軽合金鋳造、スチールパイプリヤフレームをボルト留めした溶接構造
型式プレートの位置	クロスパイプフレーム（後部右）
車両識別番号の位置	右サイドフレーム前側

寸法

全長	2196 mm
全高	1221 mm、空車時、ハイウインドシールド含む
全幅	905 mm、ミラー含む
フロントシート高さ	820 mm、ライダー非乗車時
- ローダブルシート ^{OE} 装備	790 mm、ライダー非乗車時
ライダーステップアーチレングス	1810 mm、ライダー非乗車時
- ローダブルシート ^{OE} 装備	1750 mm、ライダー非乗車時

重量

車両重量	254 kg、空車時、走行可能状態、燃料満載時の90 %、オプション非装備
許容総重量	460 kg
最大積載荷重	206 kg

性能

最高速度	>200 km/h
------	-----------

サービス

リサイクリング	154
BMW Motorrad サービス	155
BMW Motorrad モバイルサー ビス	156
メンテナンス作業	156
点検記録	157
一般整備記録	162

リサイクルング

二輪車を廃棄する場合は？

最寄りの「廃棄二輪車取扱店」の BMW Motorrad ディーラーにご相談ください。

廃棄二輪車取扱店とは (社) 全国軽自動車協会連合会の登録販売店で、広域廃棄物処理指定業指定店として登録されている廃棄二輪車取扱店です。廃棄二輪車を適正処理するための窓口であり、店頭に「廃棄二輪車取扱店の証」が表示されています。



廃棄二輪車取扱店の証

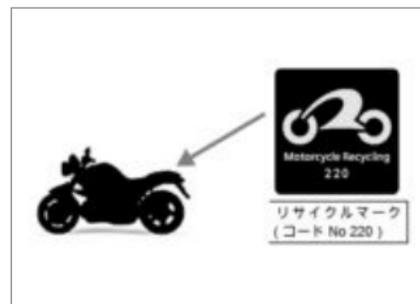
リサイクル料金と二輪車リサイクルマーク

リサイクル料金は廃棄二輪車を適正な処理を行い、再資源化する費用です。

リサイクルマーク (3 cm × 3 cm) が車体 (シートの下) に貼付されている BMW Motorrad は、リサイクル費用がメーカー希望小売価格に含まれておりますので、再資源化に必要なリサイクル料金はいただきません。

ただし、運搬および収集費用は含まれておりませんので、お客様から廃棄二輪車取扱店、およ

び指定引取所迄の運搬および収集費用はお客様負担となります。尚、運搬および収集費用は、依頼する廃棄二輪車取扱店にお問い合わせください。また、お客様の都合で二輪車リサイクルシステムを活用されない場合に於いても、リサイクル料金は返還いたしません。



シート下のフレーム等に貼付しています

二輪車リサイクルマークの取扱い

二輪車を廃棄する際は、二輪車リサイクルマークが必要となります。

リサイクルマークは車体から剥がさないでください。尚、紛失、破損による再発行、部品販売の取扱いはございません。

リサイクルマークの剥がれ等により、リサイクルマーク付車両か否か不明の場合は、(財)自動車リサイクル促進センターのホームページおよび二輪車リサイクルコールセンターでご確認ください。

廃棄二輪車に関するお問合せについて

廃棄二輪車に関するお問い合わせは、最寄りの「廃棄二輪車取扱店」のBMW Motorradディーラーまたは下記の二輪車コールセンターまでお問合せください。

(財)自動車リサイクル促進センター内

- 二輪車リサイクルコールセンター
- 電話番号 03-3598-8075
- 受付時間 9時30分～17時00分（土日祝日、年末年始等を除く）
- ホームページ
<http://www.jarc.or.jp/>

BMW Motorrad サービス

BMW Motorradの広範囲にわたるサービスネットワークは、世界100ヶ国以上でお客様とモーターサイクルへのサービスを提供しています。BMW Motorradディーラーは、ご使用のBMWモーターサイクルにおいて、あらゆるメンテナンスおよび修理作業を確実にを行うための技術情報および技術的ノウハウを備えています。最寄のBMW Motorradディーラーにつきましては、

www.bmw-motorrad.jp をご覧ください。



適切でないメンテナンスや修理作業がなされた場合、損傷や安全にかかわる危険が発生します。

BMW Motorradは、モーターサイクルに関する作業はBMW Motorradディーラーに依頼することをお勧めします。◀

ご使用のBMWモーターサイクルが常に最適な状態に保たれているようにするため、BMW Motorradは、規定のメンテナンスインターバルを順守することをお勧めします。

実施すべきメンテナンスおよび修理作業については、本書の「サービス」の章でご確認ください。また、保証期間が満了した後で修理や点検を依頼される場合にも、それまで定期的に整備されていたことが必要条件になります。

BMW サービスの内容につきましては、BMW Motorrad ディーラーにおたずねください。

BMW Motorrad モバイルサービス

BMW Motorrad の新車は、万が一のトラブル発生時にはBMW Motorrad エマージェンシーサービスによる各種のサービスを受けることができます（モバイルサービス、現場で対応可能な範囲での応急処置、車両の回送など）。

エマージェンシーサービスの詳細につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

メンテナンス作業

BMW 納車前点検 (PDI)

BMW 納車前点検 (PDI) は、納車前に BMW Motorrad ディーラーによって実施されます。

BMW 初回点検

500 km～ 1200 km の間に必ず BMW 初回点検を行ってください。

BMW サービス

BMW サービスは 1 年に 1 度実施されます。サービス項目は車両使用年数および走行距離数に応じて異なります。BMW Motorrad ディーラーがお客様にサービスの実施を確認し、次回のサービス時期を登録します。

1 年間にかんりの距離を走行する車両に関しては、場合によっては登録されている時期以前にサービスを実施する必要があります。この場合、該当する最長走行距離が一般整備記録に追記されます。次回のサービス時期の前にこの走行距離に達した場合は、予定を早めてサービスを実施する必要があります。

マルチファンクションディスプレイのサービス表示により、約 1 ヶ月後の登録日または 1000 km の登録距離になる前に、次のサービスの時期が近づいていることが示されます。

点検記録

BMW 納車前点検 (PDI)

実施済

日付 _____

スタンプ、署名

BMW 初回点検

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス
期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名

BMW サービス

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名**BMW サービス**

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名**BMW サービス**

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名

BMW サービス

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名

BMW サービス

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名

BMW サービス

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名

BMW サービス

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名**BMW サービス**

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名**BMW サービス**

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名

BMW サービス

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名

BMW サービス

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名

BMW サービス

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名

一般整備記録

この表は、メンテナンスおよび修理作業、アクセサリーの取り付け、特別キャンペーンの実施についての証明となります。

実施した作業	距離 (km)	日付

付録

検査済み証 166

Certification Tire Pressure Control (TPC)

FCC ID: MRXBC54MA4
IC: 2546A-BC54MA4

FCC ID: MRXBC5A4
IC: 2546A-BC5A4

This device complies with Part 15 of the FCC Rules and with Industry Canada license-exempt RSS standard(s).

Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:

- (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et
- (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

WARNING: Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment. The term "IC:" before the radio certification number only signifies that Industry Canada technical specifications were met.

A

ABS

- 技術情報, 88
- 警告表示, 37
- 自己診断, 79
- 操作する, 52
- 操作部, 18

ASC

- 技術情報, 90
- 警告表示, 38
- 自己診断, 80
- 操作する, 53
- 操作部, 18

D

DWA

- インジケーター / 警告灯, 21

E

ESA

- 技術情報, 93
- 操作する, 59
- 操作部, 18

P

- Pre-Ride-Check, 79

R

RDC

- 技術情報, 91
 - 警告表示, 39
 - ホイールリムのラベル, 111
- Rider's Manual
- 車両における位置, 20

あ

- アクセサリ
 - 一般的な情報, 96
- アラーム
- 動作させる, 68
- アラーム機能
- 作動解除する, 69
 - モーションセンサーを ON にする, 67
- 安全に関する注意事項
- ブレーキ, 82
 - ライディングにあたって, 76

い

- イグニッション
 - OFF にする, 44
 - ON にする, 44
- イグニッションキルスイッチ, 19
 - 操作する, 51

- インジケーター / 警告灯, 21
- 全体図, 25

う

- ウインカー
- 操作する, 50
- 操作部, 18

え

- エンジン
 - エンジンマネジメントシステム警告表示, 34
 - 始動, 78
 - 仕様 (諸元), 141
- エンジンオイル
- エンジンオイルプレッシャー警告表示, 35
 - エンジンオイルレベル警告表示, 37
 - オイルレベル注意, 28
 - 充填レベルを点検する, 103
 - 仕様 (諸元), 143
 - 注入口, 20
 - フルードレベル表示, 15
 - 補充する, 104
- エンジン回転数表示, 21

エンジン始動ロック
警告表示, 34
スペアキー, 45

お
オドメーターとトリップメーター
操作部, 18
リセットする, 48

か
外気温度
表示, 27
路面凍結警告, 37
型式プレート
車両における位置, 15

き
キー, 44
記号と意味, 6
ギヤチェンジ
シフトアシスト, 81
ギヤボックス
仕様 (諸元), 144
給油, 84

く
クーラント
異常高温用警告表示, 34

クラッチ
機能を点検する, 109
仕様 (諸元), 144
ハンドルレバーを調整する, 54
フルードリザーバタンク, 11
フルードレベルを点検する, 109
グリップヒーター
操作する, 51
操作部, 19

け
警告灯, 21
全体図, 25
警告表示
ABS, 37
ASC, 38
RDC, 39
イモビライザー, 34
エンジンオイルプレッ
シャー, 35
エンジンオイルレベル, 37
エンジン電装, 34

盗難警報装置, 41
バッテリーチャージ, 35
表示, 29
フューエルリザーブ容量, 34
ライトバルブの故障, 36
冷却水温警告灯, 34
路面凍結警告, 37
警告表示一覧, 30
ケース
操作する, 97

こ
工場での調整, 70
コンビネーションスイッチ
左側面, 18
右側面, 19

さ
サービス, 155
サービス表示, 26
サスペンション
仕様 (諸元), 145
作動解除する
アラーム, 69
モーションセンサー, 68

し
シート
取り付ける, 62
取り外す, 62
ロッキングハンドル, 11
始動, 78
操作部, 19
車両
再使用する, 136
車両識別番号
車両における位置, 15
ジャンプスタート, 127
重量
仕様 (諸元), 151
積載荷重一覧, 20
仕様 (諸元)
エンジン, 141
エンジンオイル, 143
規格, 7
ギヤボックス, 144
クラッチ, 144
サスペンション, 145
重量, 151
スパークプラグ, 149
寸法, 150
電装システム, 148
燃料, 142
バッテリー, 148
バルブ, 149
ブレーキ, 147
フレーム, 150
ホイールとタイヤ, 147
リヤホイールドライブ, 145
ショックアブソーバー
調整エレメント (リヤ), 11
調整する, 58
シンボルマーク
意味, 25
す
ステアリングロック
ロックする, 45
スパークプラグ
仕様 (諸元), 149
スピードメーター, 21
スプリングプリロード
調整エレメント (リヤ), 11
調整する, 57
寸法
仕様 (諸元), 150

せ
全体図
警告灯 / インジケーター, 25
シート下, 20
特別仕様モデル左側面図, 13, 17
左コンビネーションスイッチ, 18
左側面図, 11
マルチファンクションディスプレイ, 24
右コンビネーションスイッチ, 19
右側面図, 15
メーターパネル, 21

そ
装備, 7

た
タイヤ
充填圧, 148
充填圧表, 20
仕様 (諸元), 147
推奨, 110
タイヤ空気圧を点検する, 60

トレッドの溝の深さを点検する, 110

慣らし走行, 81

タイヤ空気圧コントロール (RDC)

表示, 27

タイヤリペアキット

収納場所, 99

ち

チェックリスト, 78

駐車, 83

つ

ツールキット

車両における位置, 20

内容, 102

て

点検記録, 157

電源ソケット, 11

使用上の注意, 96

電装システム

仕様 (諸元), 148

と

盗難警報装置

警告表示, 41

登録する

リモートコントロール, 72

時計

調整する, 46

トラブルシューティング, 138

トルク, 139

な

慣らし走行, 80

に

荷物

積載に関する注意, 76

ね

燃料

給油する, 84

仕様 (諸元), 142

注入口, 15

は

ハザードランプ

操作する, 50

操作部, 18

バッテリー

バッテリー収納部を開く, 131

交換する, 73

車両における位置, 15

仕様 (諸元), 148

接続しているバッテリーを充電する, 129

取り付ける, 130

取り外す, 130

外したバッテリーを充電する, 129

バッテリーチャージ警告表示, 35

メインテナンスに関する注意, 128

バルブ

仕様 (諸元), 149

テールライトを交換する, 127

ハイビームバルブを交換する, 121

バルブ故障警告表示, 36

フロントウインカーバルブを交換する, 124

ポジション/パーキングライトバルブを交換する, 123

リヤウインカーバルブを交換する, 126
ロービームバルブを交換する, 121

ひ

ヒューズ
仕様 (諸元), 148

ふ

フットレスト
調整式, 13, 17
調整する, 56
フューエルリザーブ容量
警告表示, 34
走行可能距離, 26

ブレーキ

安全に関する注意事項, 82
機能を点検する, 105
仕様 (諸元), 147
ハンドルレバーを調整する, 55
ブレーキパッド
慣らし走行, 81
フロントを点検する, 105
リヤを点検する, 106

ブレーキフルード
フロント充填レベルを点検する, 107
フロントリザーバータンク, 15
リヤ充填レベルを点検する, 108
リヤリザーバータンク, 15
フレーム
仕様 (諸元), 150
プログラミングする, 70
フロントホイールスタンド
取り付ける, 118

へ

平均値
リセットする, 48
ヘッドライト
光軸, 61
光軸の調整, 11
光軸を調整する, 61
右側 / 左側通行の国での調整, 61
ヘルメットホルダー
車両における位置, 20
ヘルメットをロックする, 63

ほ

ホイール
サイズ変更, 110
仕様 (諸元), 147
フロントホイールを取り付ける, 113
フロントホイールを取り外す, 111
ホイールリムを点検する, 109
リヤホイールを取り付ける, 117
リヤホイールを取り外す, 115
ホーン, 18
本書の記述について, 7

ま

マルチファンクションディスプレイ, 21
記号 (マーク / アイコン) の意味, 25
全体図, 24
操作部, 18
表示を選択する, 47

み

ミラー
調整する, 57

め

メンテナンス
一般的な情報, 102
メンテナンススケジュール,
156
メーターパネル
周囲輝度センサー, 21
全体図, 21

も

モーションセンサー
作動解除する, 68
モーターサイクル
お手入れ, 133
固定する, 85
清掃する, 133
駐車, 83
長期保管, 136
モバイルサービス, 156

ら

ライト
操作部, 18
パーキングライトを操作す
る, 49
ハイビームを操作する, 49
パッシングライトを操作す
る, 49
ポジション / パーキングライ
ト, 49
ロービーム, 49
ラゲッジループ
車両における位置, 20
使用, 63

り

リサイクリング, 154
リモートコントロール
同調を行う, 73
登録する, 72
リヤシートカバー, 13
取り外す, 62
リヤホイールスタンド
取り付ける, 120
リヤホイールドライブ
仕様 (諸元), 145

ご購入いただきました車両の装備、アクセサリ、仕様は、本書の説明や図と異なる場合があります。これらについてのクレームはご容赦ください。

本書に記載されている寸法、重量、燃費、性能などのデータには、一般に認められている許容誤差が含まれています。

デザイン、装備、アクセサリなどは、製品を改良するために予告なく変更することがあります。印刷の誤りや誤字、脱字に起因するクレームはご容赦ください。

オリジナル Rider's Manual、
Printed in Germany。

©2014 Bayerische Motoren
Werke Aktiengesellschaft

80788 München, Germany

本書はその全部について、たとえ一部であっても、BMW Motorrad After Sales から書式による承諾を得た場合を除き、転載や複製することは禁じられています。

